

取扱説明書 | 保証書別添 |

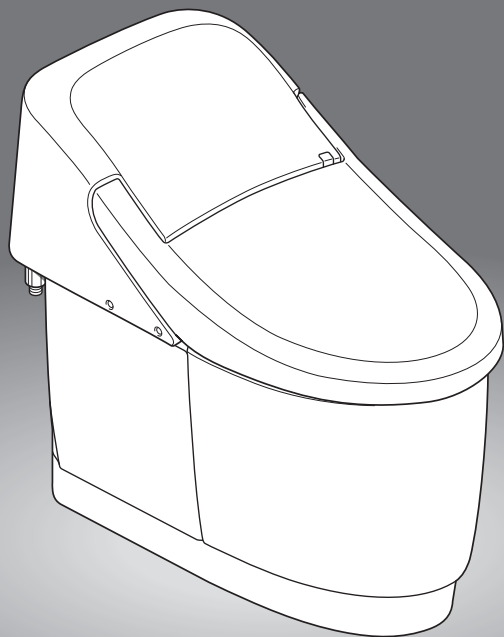
プレアス LS タイプ

DT-CL116 型 DT-CL115 型 DT-CL114 型



メーカー管理用です。

シャワートイレは、高齢の方、お体の不自由な方、
ご病気の方、小さなお子さまも、
おひとりでご使用になるものです。
しかも肌に直接触れます。
万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、
快適にお使いいただくために、
必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。



■ 必ずお読みください	1
○安全上のご注意	1
■ 故障を防ぐためのご注意	6
○お取り扱い上のご注意	6
■ 最初にお読みください	7
○各部のなまえ	7
○ご使用前の準備と確認	8
①止水栓を開く	8
②電源を接続する	8
③流す【大】または本体の洗浄ボタン を操作する	11
④シャワーを出す	11
⑤温度を調節する	11
○機能の紹介	12
■ ご使用方法	
○一般的な使い方	14
①便器の前に立つと、便フタが自動的に開く	14
②自動的に脱臭が作動する	15
③シャワーで洗う	16
④温風で乾かす	18
⑤便器を洗浄する	19
⑥便器から離れると便フタが閉じる	21
○便利な使い方	22
節電	22
においを強力に取り除く	23
イオンで除菌	24
もっと快適に	25
■ 知っておけば便利で安心	
○知っておいていただきたいこと	27
○こんなときは	29
○洗浄水量の変更のしかた	30
○停電・断水したときの便器洗浄のしかた	31
○凍結しそうときは	32
○長期間使用しないときは	35
■ お掃除・お手入れ方法	37
■ 故障かな?と思ったら	
○修理を依頼する前に	51
■ 安全・安心にお使いいただくために	61
■ アフターサービス	64
■ 別売品のご案内	67
■ 仕様	68
■ LIXIL お客さま窓口	裏面

この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

❖ 安全上のご注意・必ずお守りください

1～5ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

★工事店様へ 貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。



安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告

この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負うおそれが想定される内容を示します。

注意

この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生するおそれが想定される内容を示します。

警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で
電源プラグを抜き差ししない。
※ 感電のおそれがあります。



禁止

ガタついているコンセントや
アースターミナル付接地極付以外の
コンセントは使用しない。
※ 感電・火災の原因になります。



指示実行

電源プラグの抜き差しは
プラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って抜き差しを行うと
プラグやコードが破損し、感電や火災の
おそれがあります。



アース接続

アース線はコンセントの
アースターミナルへ確実に
接続する。
※ 感電などの原因になります。



指示実行

電源プラグは
定期的にコンセントから抜いて
乾いた布でふき取る。
※ 電源プラグにたまったホコリにより火
災のおそれがあります。



指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグ
やコードが故障（異音・異臭・発
煙・高温・割れ・漏水）した場合、
ただちにコンセントから電源プラ
グを抜き、止水栓を閉め、修理を
依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水のおそれがあります。



禁止

● AC100V 以外では使用しない。
● タコ足配線はしない。
※ 火災の原因になります。



禁止

シャワートイレ本体や、
電源プラグに水や洗剤・薬品
（消毒薬・除菌薬）を直接かけない。
※ 変色やひび割れなど製品を痛める原因
となったり、金属部品の腐食・劣化に
よる感電・発煙や火災の原因になりま
す。



禁止

電源コードにキズを付けたリ、
破損したり、加工したり、
無理に曲げたり、引っ張ったり、
ねじったり、束ねたり、
重いものを載せたり、
狭み込んだりしない。
※ 電源コードが破損し、感電・火災のお
それがあります。



禁止



指示実行

電源プラグは
根元まで十分差し込む。
※ 感電・火災のおそれがあります。



指示実行

清掃後は薬剤除去のために必ず
水拭きをしてください。

※ 変色やひび割れなど製品を痛める原因
となったり、金属部品の腐食・劣化に
よる感電・発煙や火災の原因になりま
す。



この表示は「注意しなさい！」の記号です。(左記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。



指示実行

この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。



警告



指示実行

化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、使用に際し医師に相談する。

※ 身体への著しい障害をまねくおそれがあります。



指示実行

電池は以下のことを守り、正しく使用する。

- ・ ⊕ ⊖ を正しく入れる。
- ・ 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- ・ 使い切った電池はすぐに器具から取り出す。
- ・ 電池を破棄するときは、テープなどで絶縁を行う。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

- ・ 乳幼児の手の届く場所には置かない。

※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- ・ 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流す。

- ・ 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗う。

※ 失明のおそれがあります。医師に相談してください。



指示実行

長時間使用するときや、次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- ・ お子さま
- ・ お年寄り
- ・ 病気の方
- ・ ご自分で温度調節のできない方
- ・ 皮膚の弱い方
- ・ 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- ・ 深酒された方
- ・ 疲労の激しい方

※ 「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこすおそれがあります。



禁止

電池を取り扱うときは、以下のことはしない。

- ・ 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しない。
- ・ 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しない。
- ・ 過熱・分解したり、水や火の中に入れない。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。



指示実行

〈乾燥付の場合〉乾燥を長時間使用するときや、次のような方が使用されるときは、周りの方が乾燥温度を「低」にする。

- ・ お子さま
- ・ お年寄り
- ・ 病気の方
- ・ ご自分で温度調節のできない方
- ・ 皮膚の弱い方
- ・ 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- ・ 深酒された方
- ・ 疲労の激しい方

※ 「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこすおそれがあります。



安全上のご注意



警告



水場使用禁止

バスルームなどの
湿気の多い場所には設置しない。
※ 感電・火災の原因になります。



指示実行

凍結のおそれがある場合は、
必ず凍結防止操作を行う。
(☞ 32 ページ)

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因
になります。



分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

⚠ 注意



指示実行

プラスチック部のお手入れは、
便座に使用できる
(プラスチック用) 洗剤を使用する。

※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、
ベンジン、シンナー、クレンザー、ク
レゾールなどを使用すると、プラスチッ
ク部が破損し、ケガ、感電、火災のお
それがあります。



禁止

便器（陶器）のお手入れには次の
洗剤を使用しない。

- ・ 強いアルカリ性洗剤、フッ素系洗剤、
研磨剤入りの洗剤
※ 陶器表面を傷つけてしまいます。
- ・ 撥水作用や表面コート作用などがある
洗剤やお掃除道具
※ 陶器表面が覆われることで、防汚性
能が十分に発揮できなくなります。
- ・ 塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒薬・除菌
薬
※ 気化したガスにより、故障・破損の
原因になります。



指示実行

洗剤を使ってお手入れするときは
十分に換気をしてください。
またその後、便座・便フタは開け
たままにしておいて下さい。



指示実行

クイックファスナーは給水ホース
に、確実にハマっていることを確
認する。

※ はまっていないと給水ホースが外れ、
漏水するおそれがあります。



禁止

給水ホースを折り曲げたり、
つぶしたりしない。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。



禁止

水道水および飲用可能な井戸水
以外に接続しない。

※ 機械内部の腐食により感電・火災およ
び皮膚の炎症の原因になります。
※ 飲用可能な井戸水でも水アカの付着、
腐食等の発生で、修理が必要な故障が
起きやすくなる場合がありますので定
期的なメンテナンスが必要です。また、
井戸水は環境によって変化する場合が
ありますので、定期的な水質検査や水
質改善設備の維持管理などが必要です。



禁止

便フタや本体の上に乗らない。

※ 破損してケガをするおそれがあります。



禁止

止水栓に手をかけたり、
乗ったりしない。

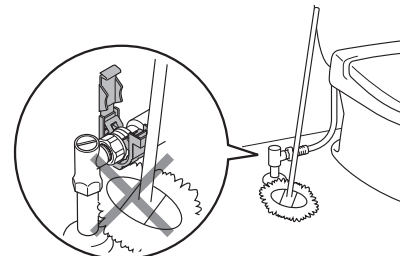
※ 漏水し室内浸水の原因になります。



禁止

お掃除のときなどに、
クイックファスナーに衝撃を与え
たり、引っ掛けない。

※ クイックファスナーの破損などにより
給水ホースが外れ、室内浸水の原因に
なります。



火気禁止

タバコや灰皿などの
火気類を近づけない。

※ 火災のおそれがあります。



安全上のご注意

⚠ 注意



接触禁止

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら
破損部には絶対に触れない。
※ 破損部でケガをするおそれがあります。
早めに交換してください。



指示実行

お掃除のときには必ず
電源プラグをコンセントから抜く。
※ 感電のおそれがあります。
(ノズル掃除を使用する場合は、電源を入れた状態で行ってください。)



禁止

便フタにもたれない。
※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。



指示実行

次のような方が使用されるときは、
周りの方が転倒に注意する。

- ・ お子さま
- ・ お年寄り
- ・ ご自分で座ることや立ち上がることができない方

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。



禁止

便器に熱湯を注がない、
また衝撃を与えない。
※ 破損部でケガをすることがあります。
※ 破損や漏水のおそれがあります。



指示実行

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
 - ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
 - ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
- ※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



指示実行

定期的に配管の周りを見て
水漏れがないか確認する。
※ 部品の劣化・摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害のおそれがあります。



指示実行

新築・改築工事後、水道断水の復旧後、または水抜き後に再び使用する場合は、配管内の空気を抜く。
※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



指示実行

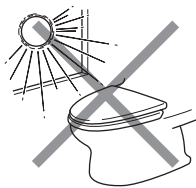
長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜く。(☞ 35 ページ)
※ 凍結破損により火災・室内浸水のおそれがあります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症などをおこすおそれがあります。



お取り扱い上のご注意

直射日光が当たらないようにしてください。

- ※ プラスチック部が変色することがあります。
- ※ リモコンや人体検知センサーの作動不良の原因になります。



便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。

- ※ 割れたり漏電など故障の原因となることがあります。

リモコンに水や洗剤・薬品（消毒薬・除菌薬）をかけないでください。

- ※ 故障の原因になります。

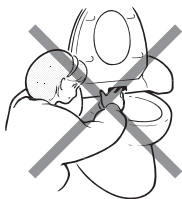
プラスチック部にトイレ用消臭剤をかけないでください。かかった場合は、すぐにふき取ってください。また、ヘアスプレーなどをご使用の場合は、室内に成分が留まらないよう、十分な換気を行ってください。

- ※ 光沢がなくなることがあります。
- ※ 故障の原因になります。

〈乾燥付の場合〉

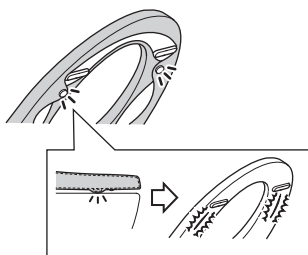
絶対に温風の吹出口をふさがないでください。

- ※ 故障の原因になります。



便座カバーを取り付けないでください。

- ※ 他社市販品のご使用にあたっては、当社では責任を負いかねます。お客さまの責任でご判断ください。
- ※ 便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れることがあります。
- ※ 着座センサーにカバーが掛かり、着座センサーが入りっぱなしになります。これにより脱臭ファンが回りっぱなしになったり、便座が冷たくなることがあります。
- ※ カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくる場合があります。



シャワートイレ本体や付属品にストーブやヒーターなどを近づけすぎないでください。

- ※ 変色や故障の原因になります。

トイレットペーパー以外の紙を使用したり、便鉢に配管が詰まるような異物を落とさないでください。誤って落とした場合は、水を流す前に拾いだしてください。

万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。詰まったまま水を流さないでください。

- ※ 便器から汚水があふれて、床を汚すことがあります。



本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。また、メラミンスポンジを使用しないでください。

詳しいお手入れ方法は 37 ページをご覧ください。

- ※ キズがつき光沢がなくなることがあります。

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。

- ※ 故障の原因になります。

汚物の大きさ、量、比重の違いやトイレットペーパーの量、種類によっては、1 回の洗浄で完全に流れきらずに残ることがあります。

大洗浄で 1 度に流すトイレットペーパーの量は 5m 程度を目安にしてください。

トイレットペーパーの量については JIS 規格を参考にしております。

バリウムなど、水に溶けにくく重いものは 1 度の洗浄では流しきれない場合があります。

完全に流せない場合は便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。

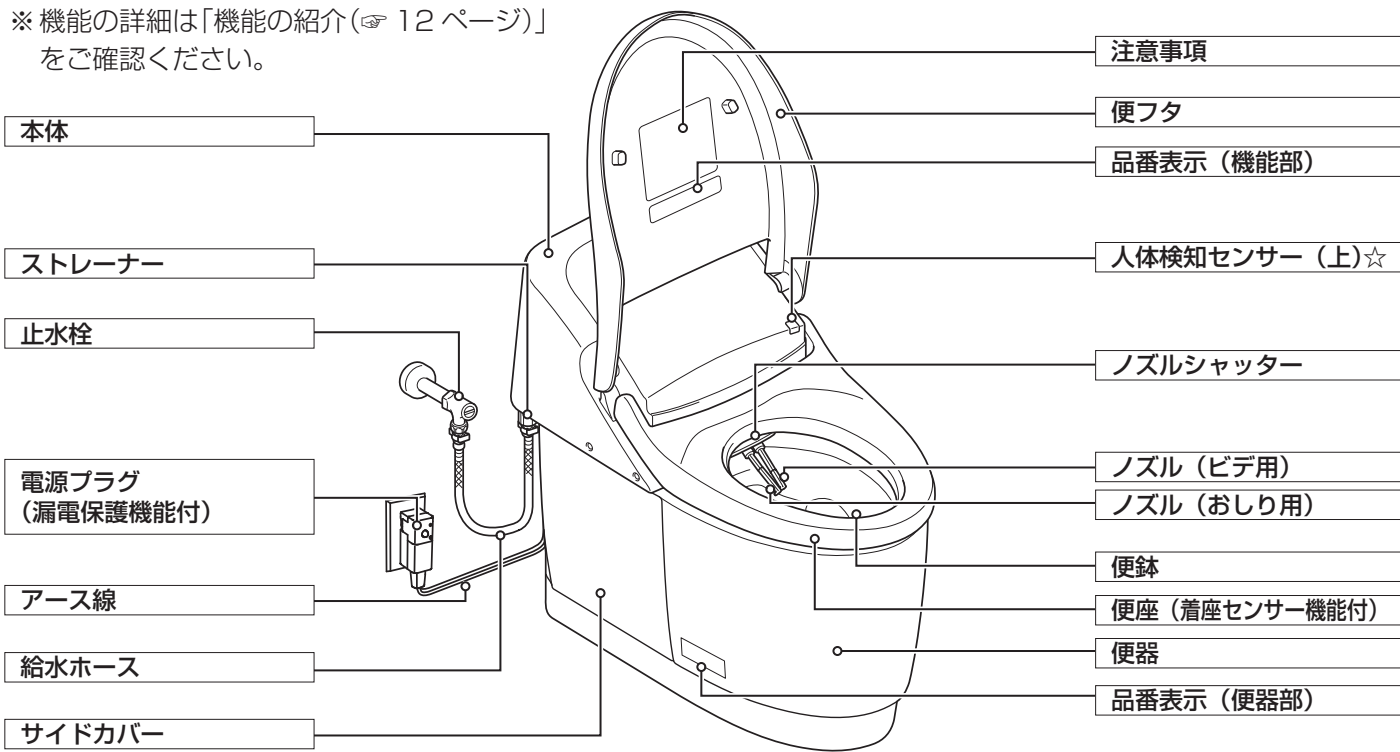


各部のなまえ

全体図

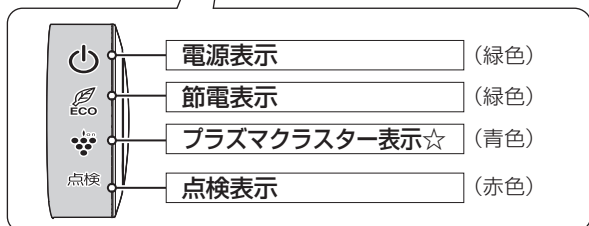
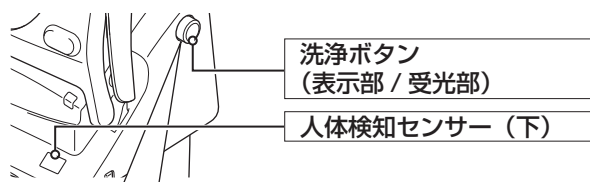
※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

※機能の詳細は「機能の紹介（☞ 12 ページ）」
をご確認ください。



※操作は、リモコン操作のみにになります。

洗浄ボタン（表示部 / 受光部）

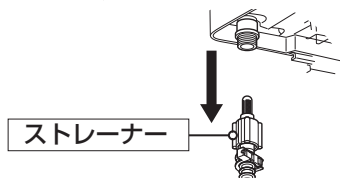




各部のなまえ / ご使用前の準備と確認

ストレーナー

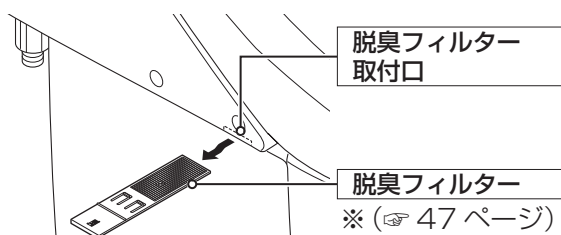
〈本体左底面〉



- ※ ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。
- ※ ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
- 外すときは少量の水がこぼれますので、布などを下に置いてください。
- (☞ 48 ページ)

脱臭フィルター

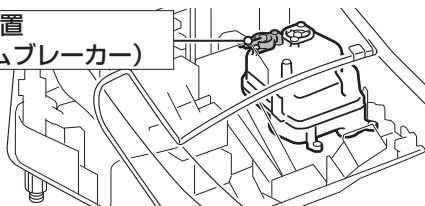
〈本体左側面〉



※ (☞ 47 ページ)

負圧破壊装置 (バキュームブレーカー)

負圧破壊装置
(バキュームブレーカー)



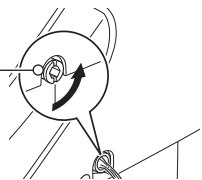
- ※ バキュームブレーカーは、本体に内蔵されています。
- また、定期的な点検が必要です。(☞ 62 ページ)

温水タンク水抜栓

〈本体向かって右側面〉

温水タンク水抜栓

- ※ 温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。(☞ 35 ページ)

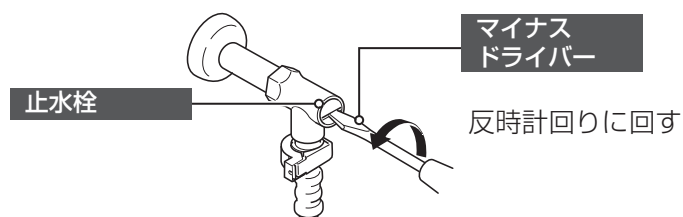


STEP

1

止水栓を開く

- ※ 「止水栓」が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
- ※ ロータンクへの給水中、便器の中に少しずつ水が流れる場合があります。



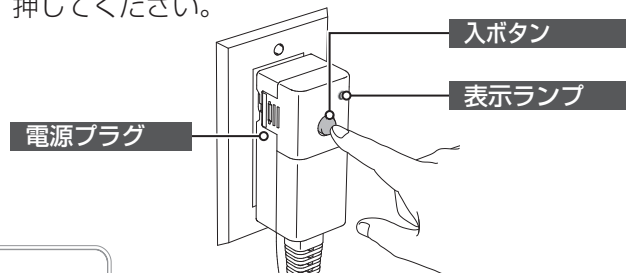
STEP

2

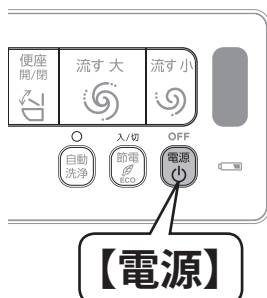
電源を接続する

- 「アース線」をアース端子に接続する
- 「電源プラグ」をコンセント (AC100V) に差し込む

- ※ 本体表示部の「電源表示」(緑色)の点灯を確認してください。
- 「電源表示」が点灯しなかった場合は「電源プラグ」の「入ボタン」を押します。
- それでも点灯しない場合は、リモコンの【電源】を押してください。



- ※ 「電源プラグ」には、シャワートイレ内部で漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。
- 電気を遮断すると表示ランプが点灯します。
- (通常は消灯しています。)



【注意】

- 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

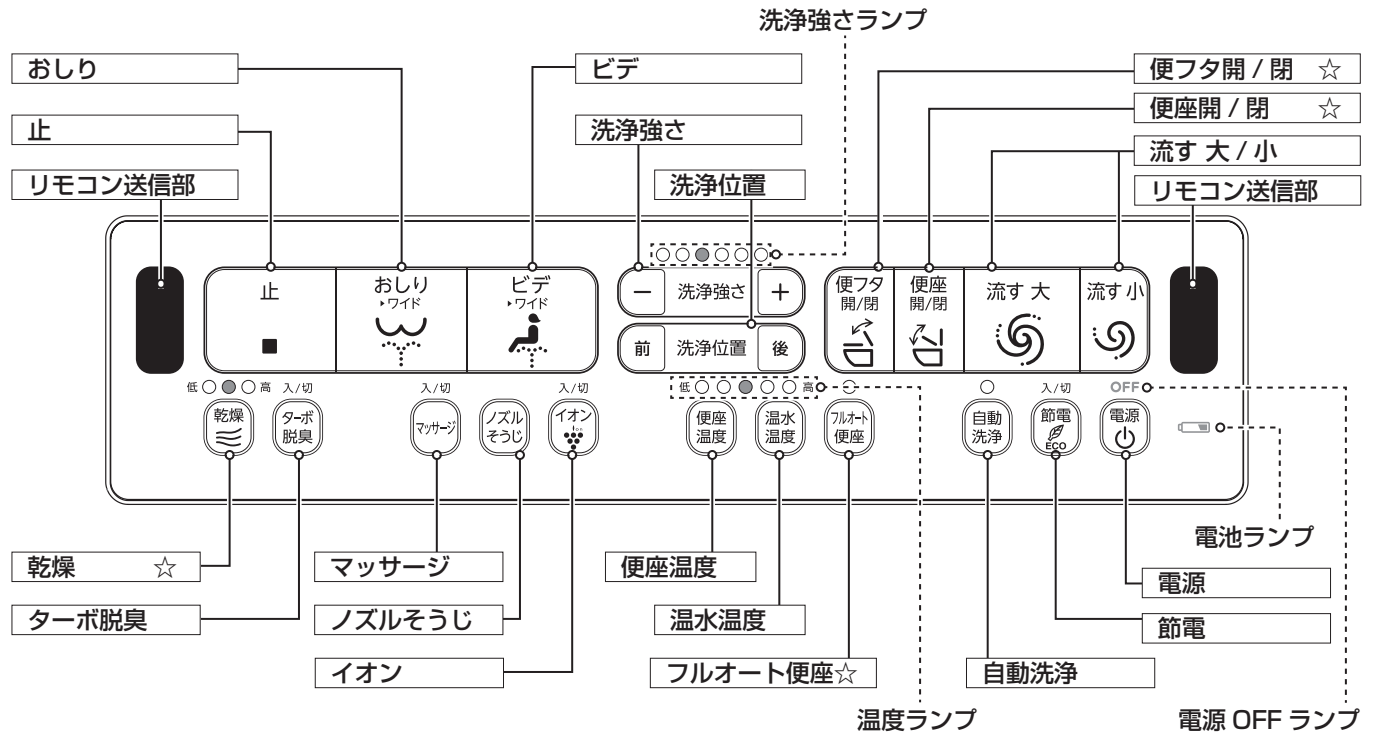
最初にお読みください



ご使用前の準備と確認

リモコン

〈壁リモコン〉※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

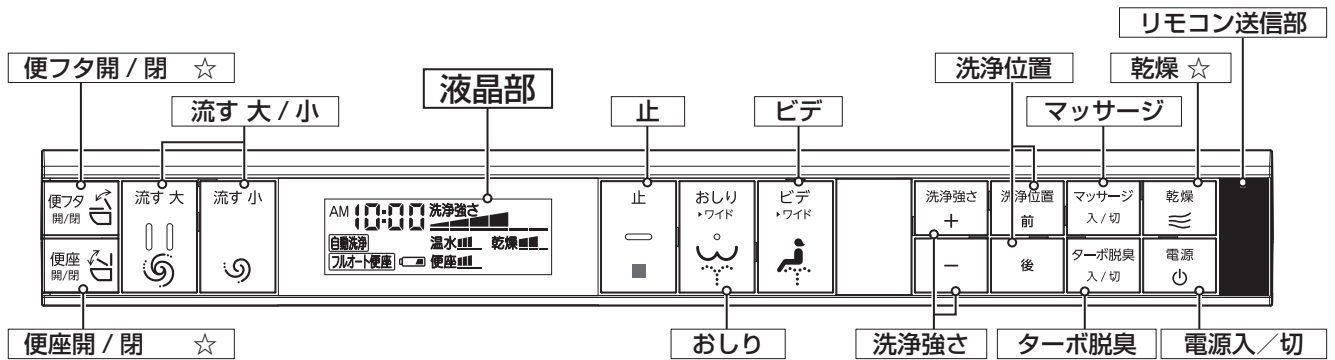


(参考)

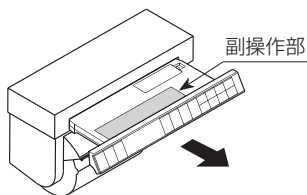
- 本書の操作方法では壁リモコンのイラストをメインとして記載していますが、インテリアリモコンも操作方法（スイッチ）は同じです。
- 壁リモコン、インテリアリモコンの電源スイッチで電源を「入」にした場合、すべてのランプが数秒点灯します。
- 壁リモコン、インテリアリモコンの電源スイッチで電源を「切」にした場合、電源 OFF ランプが数秒点灯します。
- 壁リモコン、インテリアリモコンのランプはボタン操作後数秒で消灯します。

リモコン (つづき)

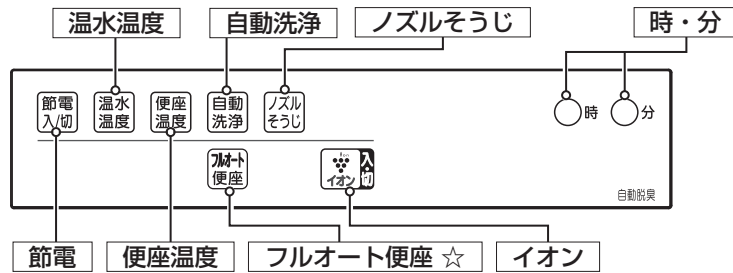
〈インテリアリモコン〉※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



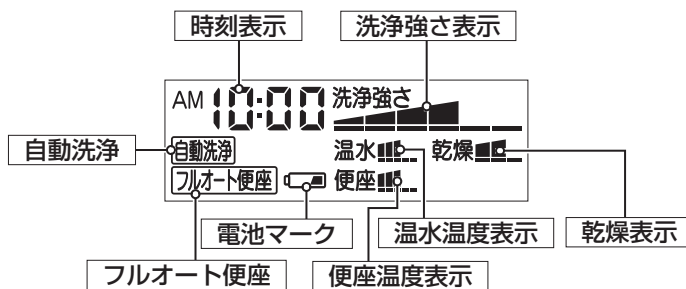
● 副操作部



リモコンを引き出し、フタを開けます。



● 液晶部



■ 時計の合わせかた

【時】と【分】を押して時刻を合わせる

※ AM(午前)、PM(午後)に注意してください。

時計合わせスイッチ



表示部





ご使用前の準備と確認

STEP

3

流す【大】または本体の洗浄ボタンを操作する

※便器洗浄の水が出ることを確認してください。

STEP

4

シャワーを出す

1 腕まくりをし、肌で便座に触れる

※人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。
シャワー・乾燥は、着座していないと作動しません。

2 【おしり】を押す

※温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。このようなときは、洗浄強さを「強」にしてください。

3 ノズルの先端に手をかざしてシャワーを受け止める

※温水タンクが満水でない場合、約 1～2 分かかることがあります。

4 【止】を押して、シャワーを止める



STEP

5

温度を調節する

●【温水温度】を押す

※シャワー温度を調節します。温水温度は 6 段階（「切（水温）」、「低（約 32℃）」～「高（約 40℃）」）に切り替えられますので、季節に応じて好みの温度に設定してください。

●【便座温度】を押す

※便座温度を調節します。便座温度は 6 段階（「切（室温）」、「低（約 28℃）」～「高（約 36℃）」）に切り替えられますので、季節に応じて好みの温度に設定してください。

温度設定 ランプ表示(○:消灯、●:点灯)

	低	高
切	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
低(お買上げ時)	● ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	○ ● ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	○ ○ ● ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ● ○	○ ○ ○ ○ ○
高	○ ○ ○ ○ ●	○ ○ ○ ○ ●

切り替わる順番



警告



指示実行

次のような方が使用されるときは、
周りの方が便座温度を「切」にする。

- ・ お子さま
- ・ お年寄り
- ・ 病気の方
- ・ ご自分で温度調節のできない方
- ・ 皮膚の弱い方
- ・ 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- ・ 深酒された方
- ・ 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、
低温ヤケドをおこすおそれがあります。

(参考)

- シャワーと便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10～15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
- 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。(☞ 25 ページ)
- 省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としています。使用環境などによっては、便座が冷たいと感じる場合があります。

❖温度ランプの表示について

スイッチを押さない時間が数秒続くと、ランプが消灯します。設定中にランプが消灯した場合は、もう一度スイッチを押して設定をしてください。



機能の紹介

品番は、便フタ裏の機能部品番表示、便器の便器品番表示（ 7 ページ）に記載されています。お持ちの機能をご確認ください。

品番対応一覧

シリーズ名	記号	グレード	型番
プレアス LS タイプ	CL6	CL6A/CLR6A/CLM6A	DT-CL116 型
	CL5	CL5A/CLR5A/CLM5A	DT-CL115 型
	CL4	CL4A/CHR4A/CLM4A	DT-CL114 型

キレイ機能			記号		
			CL6	CL5	CL4
アクアセラミック (ISO 抗菌準拠)	—	汚れが付きにくい衛生陶器に最適な新素材。	○	○	○
鉢内除菌  24	24	プラズマクラスターイオンで付着菌を除菌。においを抑えます。	○	○	○
パワーストリーム洗浄	—	勢いのよい水流で、グルッと強力に洗い流します。	○	○	○
お掃除リフトアップ  41	41	お掃除できなかった便器とのすき間をラクラクお掃除。	○	○	○
ノズルシャッター  43	43	使わないときは、ノズルを収納。着脱式でお掃除ラクラク。	○	○	○
ノズルそうじ  44	44	スイッチ操作でノズルを洗浄します。	○	○	○
ノズル先端着脱  45	45	ノズルの先端が交換可能でいつも清潔。	○	○	○
キレイ便座	—	つぎ目をなくし、さらに便座の裏の防汚処理でお掃除ラクラク。	○	○	○
女性専用レディスノズル	—	女性にやさしいビデ専用ノズル。	○	○	○
ノズルオートクリーニング  16	16	使用前後にノズルをたっぷりのお湯で洗います。	○	○	○
便フタワンタッチ着脱  40	40	便フタが簡単に取り外せて、お掃除ラクラク。	○	○	○
抗菌樹脂 (ISO 抗菌準拠)  39	39	銀イオンパワーの抗菌効果。	○	○	○

エコ機能			記号		
			CL6	CL5	CL4
超節水トイレ	—	従来品に比べ、2 日でおフロ 1 杯以上の節水効果。	EC05		
スーパー節電  22	22	使わないときは、自動的に便座温度と湯温を下げて節電します。	○	○	○
ワンタッチ節電  22	22	スイッチ操作で一定時間、ヒーターをオフにして節電します。	○	○	○
電源スイッチ	—	スイッチ操作でこまめに節電。	○	○	○

洗浄機能			記号		
			CL6	CL5	CL4
おしり洗浄  16	16	お湯のシャワーで、おしりをスッキリ洗浄。	○	○	○
おしりワイド洗浄  17	17	ノズルが前後に動き、広い範囲を洗浄。	○	○	○
おしりマッサージ洗浄  17	17	強弱をつけた洗浄で、おしりを刺激。	○	○	○
ビデ洗浄  16	16	ソフトなシャワーでやさしく洗浄。	○	○	○
ワイドビデ洗浄  17	17	ノズルが前後に動き、広い範囲をやさしく洗浄。	○	○	○
ノズル位置調節  17	17	ノズルをお好みの位置に調節。	○	○	○

最初にお読みください



機能の紹介

○：保有機能あり －：保有機能なし △：オプション

快適機能			記号		
			CL6	CL5	CL4
フルオート便座	👉 14	便器に近づくと自動で便フタが開き、離れると閉まります。	○	－	－
フルオート便器洗浄 (リモコン便器洗浄)	👉 19	便座から立ち上がると自動的に便器を洗浄。	○ ※	○ －	○ －
便フタ閉後洗浄モード	👉 20	便座から立ち上がると自動で便フタが閉まり、便器洗浄します。	○	－	－
温風乾燥	👉 18	温風で、おしりをさらっと乾燥。	○	○	－
Wパワー脱臭	👉 15	着座すると脱臭を開始。より強力ににおいを吸引します。	○	○	○
ターボ脱臭	👉 23	ボタン操作で強力脱臭。	○	○	○
暖房便座	👉 11	寒い日でも、おしりあたたか。	○	○	○
スローダウン便座	－	便座がゆっくり閉まって、閉まる時の音を軽減します。	○	○	○
便座ヒーターオートOFF	👉 25	便座に座るとヒーター OFF。低温やけどを防止します。	○	○	○
着座センサー	👉 27	人が座らないと作動しない誤作動防止センサーです。	○	○	○
リモコン	－	見やすく、ラクな姿勢で操作できます。	○	○	○
インテリアリモコン	－	紙巻機と一体になったインテリア性を重視したリモコンです。	△	△	△
点字対応	－	目の不自由な方に配慮した点字対応。	○	○	○
停電対応	👉 31	停電時も安心。	○	○	○

※ 男子立ち小用時に自動洗浄します。



一般的な使い方

STEP

1

便器の前に立つと、便フタが自動的に開く【フルオート便座】

- ※ この機能のついていない機種があります。
13 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。
- ※ お買い上げ時は、「入」になっています。
- ※ 便フタが単独で開いた後、着座センサーが検知しなければ、約 3 分後に便フタが閉まります。
- ※ 「人体検知センサー（上）」が人の動き（熱の変化）を検知して、便フタを自動的に開きます。
トイレの扉を開けたままにしておくと、トイレの前を通過する人を検知する場合があります。
- ※ センサーの誤検知による急な作動などがないように、電源プラグを接続して約 1 分間は、自動で便フタは開きません。
- ※ リモコンや手で便フタを閉じた場合は、15 秒間は開きません。
- ※ 便フタが閉じるとき「ピッピッピッピー」と音が鳴ります。



手動で便フタや便座を開閉するとき

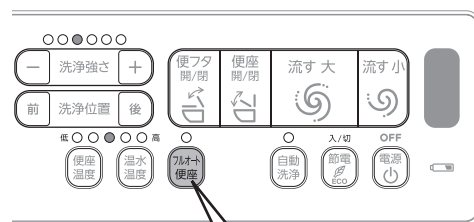
【フルオート便座】を押し、「切」にする

【フルオート便座】を 1 回押すと、フルオート便座の設定を確認できます。設定を変更するには 5 秒以内にもう 1 回押してください。

フルオート便座ランプが点灯……設定「入」

フルオート便座ランプが消灯……設定「切」

- ※ 小さなお子さまが使用するときには、【フルオート便座】を「切」にしてください。小さなお子さまの場合、「着座センサー」が検知できず、使用中に便フタが閉じてくるものがまれにあります。



【フルオート便座】

リモコンで便座を開閉するとき

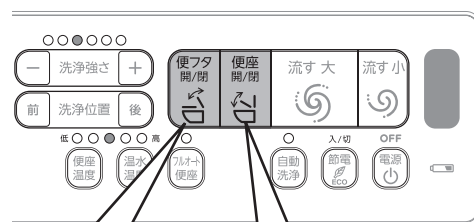
【便座開 / 閉】を押す

- ※ 【便座開 / 閉】を押すごとに開閉します。

リモコンで便フタを開閉するとき

【便フタ開 / 閉】を押す

- ※ 【便フタ開 / 閉】を押すごとに開閉します。



【便フタ開 / 閉】

【便座開 / 閉】

(参考)

- 夏場など、室温が高い場合は、人を検知しにくい場合があります。トイレ室内を換気したり、体を動かすなどしてみてください。
- フルオート便座を「切」にすることができます。
※ 小さなお子さまが使用するときには、【フルオート便座】を「切」にしてください。「着座センサー」が検知できず、使用中に便フタが閉じてくるものがまれにあります。
- 便フタと便座を同時に開ける機能がついています。
(☞ 25 ページ)

[注意]

- 太陽光が直接センサーに当たったり、トイレ室内に暖房機器や強い熱を発する照明機器があると、熱でセンサーが誤検知し、便フタが自動で開く場合があります。太陽光が直接当たらないようにしたり、暖房機器や照明機器の向きを変えてみてください。
- 手で開閉するときには、強い力を加えず、軽く開閉してください。
※ 強い力を加えると、故障の原因になります。
- 布力バーをご使用になると、便座や便フタが電動で開かなかったり、不具合が生じる場合があります。



一般的な使い方

STEP

2

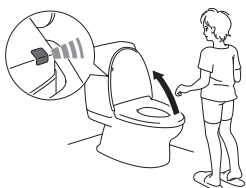
自動的に脱臭が作動する

※機種により作動するモードが異なります。
13 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

フルオート便座付の場合 (W パワー脱臭 〈3 モード脱臭〉)

1 便フタが開くと強力脱臭開始

便フタが開くと、脱臭ファンが「フルパワーモード」で作動し、においを除去します。



2 座っている間は通常脱臭

脱臭ファンが「パワーモード」になり、においを除去します。



3 立ち上がると強力脱臭

再び脱臭ファンが能力を上げて「フルパワーモード」になり、においを除去します。



4 脱臭停止

脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

フルオート便座無の場合 (W パワー脱臭 〈2 モード脱臭〉)

1 座ると通常脱臭

脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のにおいを除去します。



2 立ち上がると強力脱臭

脱臭ファンが能力を上げて「フルパワーモード」になり、においを除去します。



3 脱臭停止

脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

(参考)

- 自動脱臭を「切」にすることができます。(☞ 25 ページ)

STEP

3

シャワーで洗う

● 【おしり】【ビデ】のいずれかを押す

※ おしり洗浄は排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。

※ ビデ洗浄は生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。

● 止めるときは【止】を押す

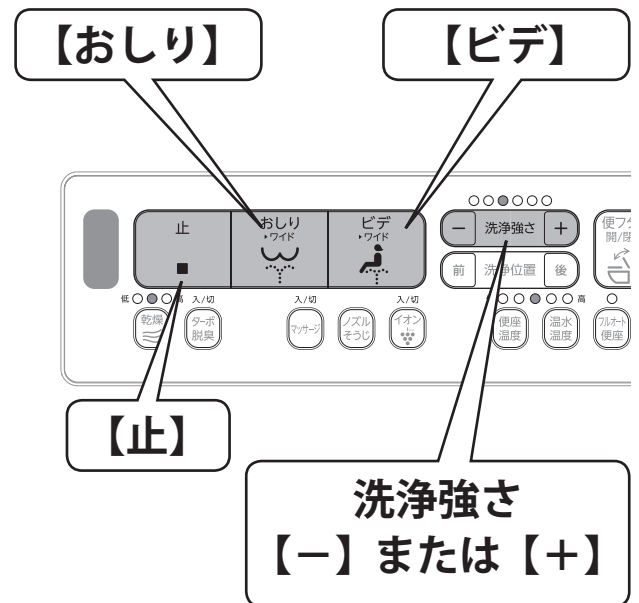
※ 洗浄時間は 10 秒～ 20 秒を目安にご使用ください。

洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの【－】または【＋】を押す

※ 洗浄強さは 6 段階あります。水勢は「弱」から試し、慣れたら徐々に好みの水勢でご利用ください。

※ 洗浄強さランプは数秒後に消灯します。



[注意]

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- シャワー使用時に便器洗浄を行うとシャワーを停止します。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、直腸内部、膣内部、尿道内部は洗わないでください。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- 局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

(参考)

- リモコンのランプは数秒後に消灯します。シャワーを使用する前に【止】を押すと、ランプが点灯し、洗浄強さの設定を確認できます。

❖ シャワーは

2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

❖ ノズルオートクリーニングについて

シャワーの前と後に自動でノズルを洗うノズルクリーニング機能が付いています。

❖ ノズル付近から出る水は

シャワー使用時とその前後、および温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。(☞ 29 ページ)



一般的な使い方

ワイド洗浄

シャワー使用中にノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

● シャワー使用中に、もう一度同じスイッチを押す

※【おしり】【ビデ】、それぞれを押すたびに「入／切」が切り替わります。

※ 洗浄を止めると、自動的に「切」に戻ります。

マッサージ洗浄

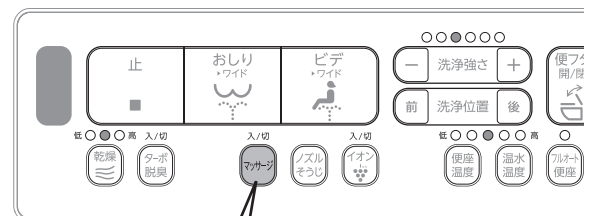
おしり洗浄中、洗浄の強さに強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。

※ ビデ洗浄にはマッサージ機能はありません。

● おしり洗浄中に、【マッサージ】を押す

※【マッサージ】を押すたびに、「入／切」が切り替わります。

※ マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。



【マッサージ】

洗浄位置

シャワー使用中に、洗浄位置の前・後を調節することができます。

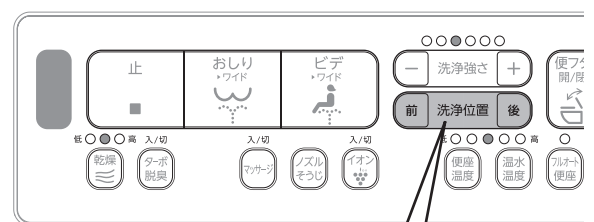
● シャワー使用中に、洗浄位置の【前】または【後】を押す

※ 洗浄強さランプとは連動しません。

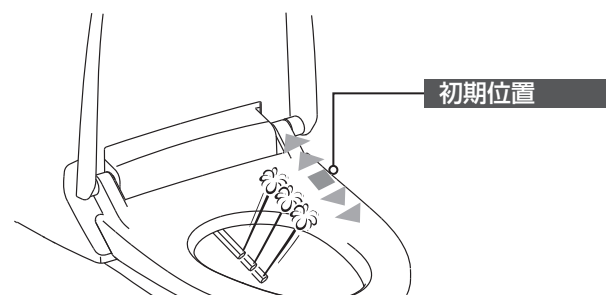
※ 洗浄位置は 5 段階に調節することができます。

※ 初期位置、前 2 段、後 2 段の計 5 段階です。

※ 便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。



洗浄位置【前 / 後】



STEP

4

温風で乾かす【温風乾燥】

※ この機能のついていない機種があります。
13 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

温風が出て、シャワーでぬれた部分を乾燥します。

※ 温風乾燥作動時はノズルが出て、ノズルシャッターを押し上げます。

●【乾燥】を押す

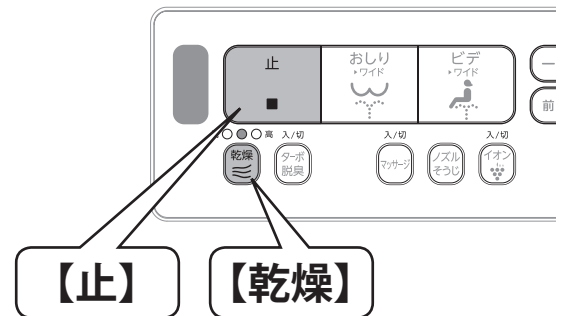
- ※ 温風の温度は 3 段階に調節できます。
- ※ 乾燥が作動中は、一時的に脱臭が停止します。

●止めるときは、【止】を押す

温風温度を変えるとき

乾燥中に、もう一度【乾燥】を押す

- ※ スイッチを押すごとに「中」から「高」→「低」→「中」と温風温度と乾燥ランプが切り替わります。
- ※ 乾燥ランプは数秒後に消灯します。
- ※ 乾燥を止めた後は、初めの設定に戻ります。



温風乾燥の始めの温度を変えるとき

【止】と【乾燥】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ 操作をするたびに始動温度が右図のように切り替わります。

セット操作	始動温度	使用中、乾燥スイッチを押したときの温度の切り替わり方		
		1 回目	2 回目	3 回目
お買い上げ時の設定	中	高	低	中
1 度目	低	中	高	低
2 度目	高	中	低	高

⚠ 警告



指示実行

次のような方が使用されるときは、
周りの方が乾燥温度を「低」にする。

- ・ お子さま
- ・ お年寄り
- ・ 病気の方
- ・ ご自分で温度調節のできない方
- ・ 皮膚の弱い方
- ・ 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- ・ 深酒された方
- ・ 疲労の激しい方

※ 「低」以外の温度で長時間使用されますと、
ヤケドをおこすおそれがあります。

(参考)

- 洗浄後、トイレットペーパーでおしりの水滴を軽く
取ってから【乾燥】を押せば、素早く乾燥できます。

❖ 温風乾燥は

4 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。



一般的な使い方

STEP

5

便器を洗浄する

【フルオート便器洗浄】/【リモコン便器洗浄】/【手動便器洗浄】/【便フタ閉後洗浄モード】

※ この機能のついていない機種があります。
13 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

フルオート便器洗浄

立ち上がると、自動的に便器洗浄を行います。
※ お買い上げ時は「入」になっています。

設定を切り換えるとき

【自動洗浄】を押す

【自動洗浄】を 1 回押すと、自動洗浄の設定を確認できます。設定を変更するには 5 秒以内にもう 1 回押してください。

自動洗浄ランプが点灯 …… 自動で便器洗浄をする



自動洗浄ランプが消灯 …… 自動で便器洗浄をしない



【自動洗浄】

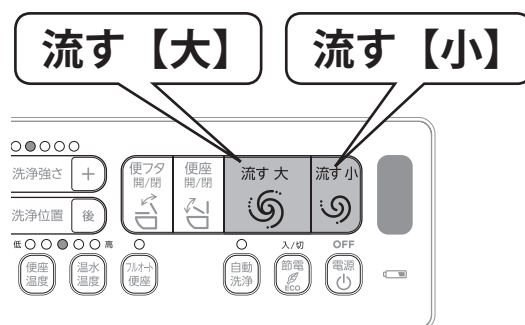
(参考)

- 「入」 のとき自動洗浄ランプは数秒後に消灯します。
- 【止】 を押すと、自動洗浄の設定を確認できます。(おしり / ビデ洗浄中、乾燥中および電源 OFF 中は除く)

リモコン便器洗浄

大便時は流す【大】を、 小便時は流す【小】を押す

※ 大便時に流す【小】を押すと、汚物が流れないことがあります。



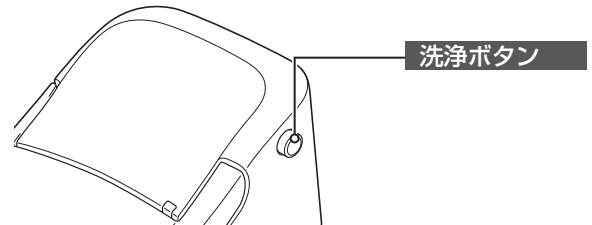
【注意】

- 便器洗浄中に電源プラグを抜かないでください。
※ 洗浄水が流れっ放しになります。

手動便器洗浄

● 本体の洗浄ボタンを押す

※ 大洗浄をします。



便フタ閉後洗浄モード ※機種によっては、この機能がない場合があります。

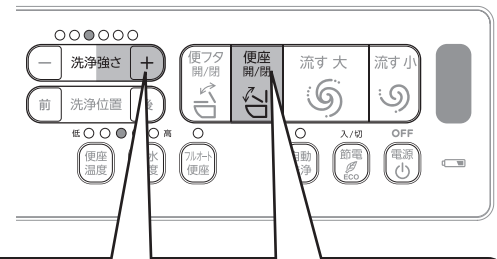
※ お買い上げ時は「切」になっています。

1 【便座開 / 閉】と洗浄強さ【+】を 同じタイミングで2秒以上押す

※ セット完了時、「ピッ」という音が鳴ります

2 解除するときは、もう一度 【便座開 / 閉】と洗浄強さ【+】を 同じタイミングで2秒以上押す

※ セット完了時、「ピー」という音が鳴ります。



【便座開 / 閉】+ 洗浄強さ【+】

※ 水が流れる前に、便フタが先に閉じます。

※ 自動便器洗浄「入」の場合、便座から立ち上がると、便フタが自動で閉じてから、水が流れます。

※ リモコンの流す【大】流す【小】で操作すると、便フタが自動で閉じてから、水が流れます。

※ 着座中・立ち小用時に、リモコンの流す【大】流す【小】を押すと、便フタが閉まらず、水が流れます。

※ 便フタが閉まってから約 30 秒間は自動で開きません。

※ 便フタが閉じるとき「ピッピッピッピー」と音が鳴ります。

【注意】

- 停電や断水した場合は「停電・断水したときの便器洗浄のしかた」にしたがって便器内を洗浄してください。(☞ 31 ページ)
- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、リモコン「大」洗浄または手動「大」洗浄にて再度洗浄してください。
- 一回目の便器洗浄から間を置かずに行くと、洗浄ができない場合があります。
このようなときは、しばらく間を置いてから手動洗浄にて洗浄を行ってください。
- 水の流れが悪い、または、汚物がよく残る場合は「修理を依頼する前に」をご確認ください。(☞ 55 ページ)

❖ 洗浄のタイミングは

フルオート便器洗浄・便フタ閉後洗浄モードは、便座に 10 秒以上座り、立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。立ち上がってから便器洗浄するまでの時間を 4 段階に切り替えることができます。

※ 便フタ閉後洗浄モード【入】の場合は、立ち上がってから自動的に便フタが閉まり始まるまでの時間となります。

(☞ 25 ページ)

❖ 男性小用のときは

フルオート便座付の場合、男性小用のとき、便座が開いた状態で便器の前に 6 秒以上立ち、立ち去って 1 秒後に小洗浄します。

❖ 大洗浄と小洗浄の区別は

フルオート便器洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」・「50 秒未満：小洗浄」を行います。

(ただし 50 秒未満でもおしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。)



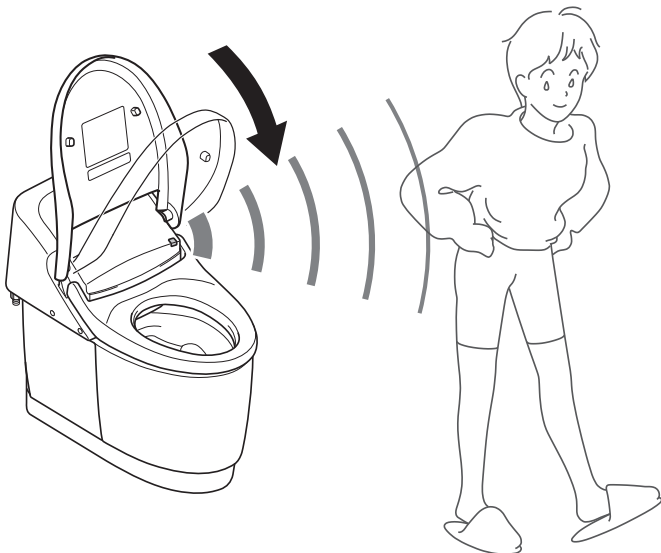
一般的な使い方

STEP

6

便器から離れると便フタが自動で閉じる【フルオート便座】

※ この機能のついていない機種があります。
13 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。



- ※ 便フタが閉じるとき「ピッピッピッピ」と音が鳴ります。
- ※ 便座から立ち上がって約 1 分後に便フタが閉まります。
フルオート便座が「切」の場合は閉じません。
- ※ 男性小用の場合は、便座が開いた状態で便器の前に 6 秒以上立ち、立ち去って約 1 分後に便座・便フタが閉まります。
- ※ リモコンや手で便フタを閉じた場合は、約 15 秒間は開きません。手洗い時、人の退出時に便フタが繰り返し開かないようにするためです。
- ※ 「人体検知センサー（上）」が人の動き（熱の変化）を検知して、自動的に開閉します。
トイレの扉を開けたままにしておくと、トイレの前を通過する人を検知する場合があります。

【注意】

- 便フタや便座の自動開閉中は手などで動きを止めたり、逆方向に動かしたりしないでください。
- ※ 便フタや便座の開閉機能が正常に動かなかったり、故障の原因になります。

手動で便フタを開閉するとき

【フルオート便座】を押し、「切」にする

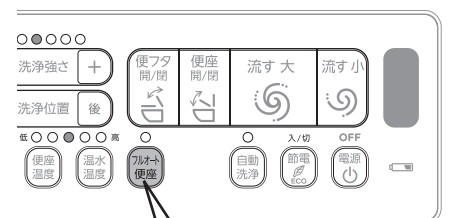
【フルオート便座】を 1 回押すと、フルオート便座の設定を確認できます。
設定を変更するには 5 秒以内にもう 1 回押してください。

フルオート便座ランプが点灯……設定「入」

フルオート便座ランプが消灯……設定「切」

【注意】

- 手で開閉するときは、強い力を加えず、軽く開閉してください。
- ※ 強い力を加えると、故障の原因になります。



【フルオート便座】

リモコンで便座を開閉するとき

【便座開 / 閉】を押す

※ 【便座開 / 閉】を押すごとに開閉します。

リモコンで便フタを閉じるとき

【便フタ開 / 閉】を押す

※ 【便フタ開 / 閉】を押すごとに開閉します。



【便フタ開 / 閉】

【便座開 / 閉】

【注意】

- リモコンで便フタを閉じた場合、15 秒間は人体検知センサーが働きません。人の退出時に便フタが繰り返し開かないようにするためです。
- また、センサーを動かせるまでの時間を変更することができます。（☞ 25 ページ）



節電

節電機能にはワンタッチ節電（8 時間）とスーパー節電（常時）の 2 種類があります。スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電（8 時間）を併用することで、効果的な節電ができます。お買い上げ時は「切」の状態になっています。

ワンタッチ節電（8 時間）

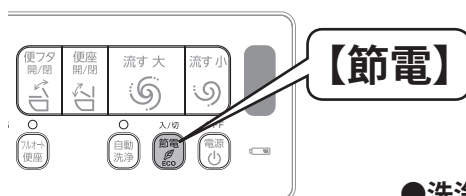
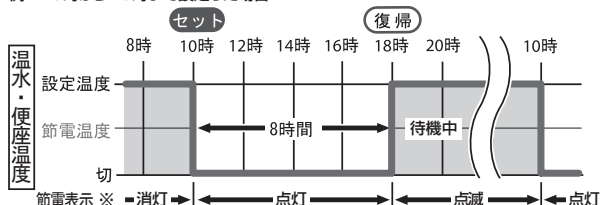
長時間使用しない夜間など、スイッチを押してから 8 時間、温水と便座のヒーターを「切」にして消費電力を抑える節電機能です。8 時間後は元の状態に戻り、毎日同じ時間に自動で便座ヒーターを切ります。時間を変更したい場合は、その時間に設定作業をしてください。

1 【節電】を押す

- ※【節電】を押すたびに設定が切り替わります。
- ※設定状態は本体表示部の節電表示でご確認ください。（☞ 7 ページ）

切 ↔ ワンタッチ
消灯 点灯 / 点滅

例：10時から18時まで設定した場合



●洗浄ボタン
(表示部 / 受光部)

※ワンタッチ節電中は節電表示が点灯します。
待機中は節電表示が点滅します。



(参考)

- 停電時や電源プラグを抜いたときは、ワンタッチ節電の設定がリセットされます。

スーパー節電（常時）

使用していないとき、温水と便座の温度を下げて消費電力を抑える節電機能です。

※使用していないときは常に節電しています。

1 以下のボタン操作を行う

〈壁リモコンの場合〉

【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで 2 秒以上押す。

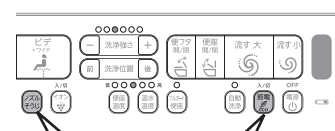
〈インテリアリモコンの場合〉

【節電】と【マッサージ】を同じタイミングで 2 秒以上押す。

- ※操作をするたびに設定が切り替わります。
- ※設定状態は本体表示部の節電表示でご確認ください。（☞ 7 ページ）

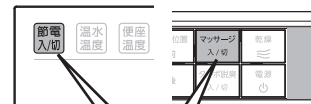
切 ↔ スーパー
消灯 2 回点滅

●壁リモコン



【節電】+【ノズルそうじ】

●インテリアリモコン



【節電】+【マッサージ】

※ワンタッチ節電と併用した場合、ワンタッチ節電中（8 時間）は本体の節電表示が点灯し、ワンタッチ節電待機中（16 時間）は節電表示が 2 回ずつ点滅します。

●洗浄ボタン
(表示部 / 受光部)



(参考)

- 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。
- 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。



においを強力に取り除く【ターボ脱臭】

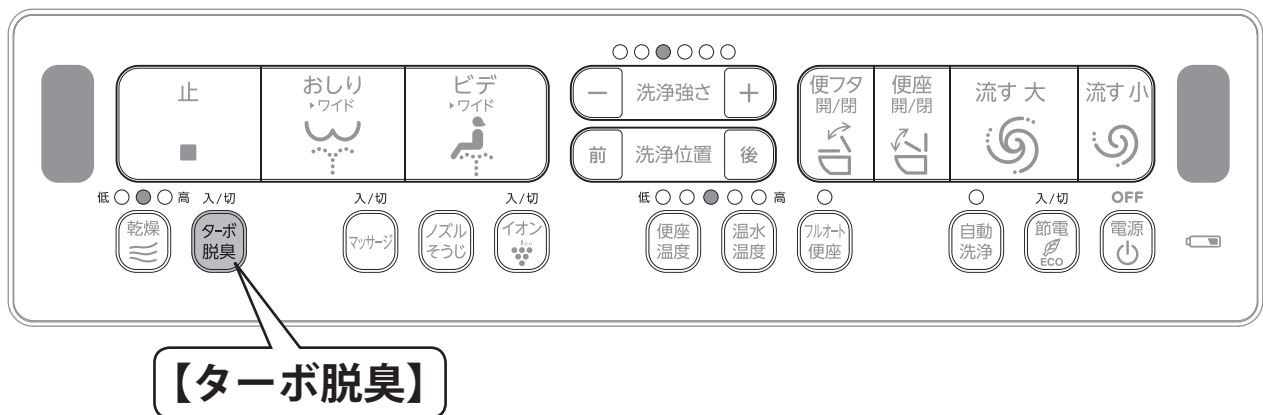
リモコンの【ターボ脱臭】を押すと、自動脱臭時より、さらに強力に便鉢のにおいを除去します。

1 自動脱臭作動中に、 【ターボ脱臭】を押す

※脱臭ファンが「ターボモード」になり、便鉢内のにおいの除去機能が向上します。

2 ターボ脱臭を止めるときは、 もう一度【ターボ脱臭】を押す

※「ターボモード」から通常の自動脱臭に戻ります。



(参考)

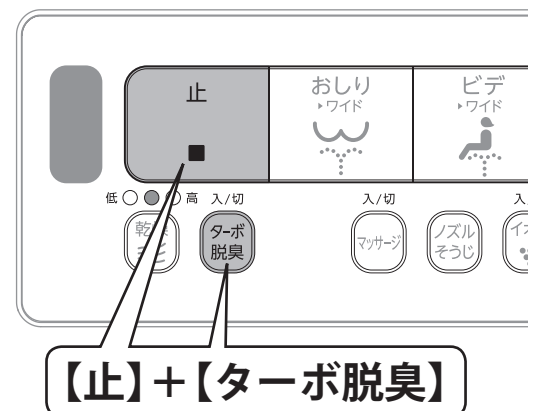
●脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

自動脱臭を常にターボモードにするとき

【止】と【ターボ脱臭】を 同じタイミングで 2 秒以上押す

※脱臭時は、常に「ターボモード」で便鉢内のにおいを除去します。

※元の設定に戻すときは、もう一度、【止】と【ターボ脱臭】を同じタイミングで 2 秒以上押します。



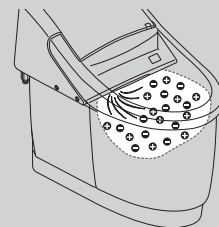
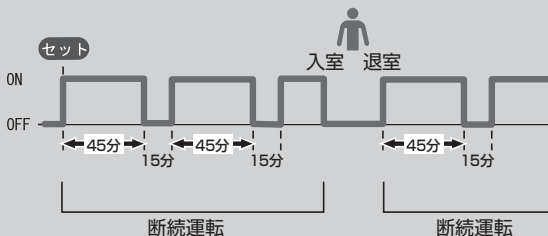


イオンで除菌【鉢内除菌】

プラズマクラスターイオン（プラスとマイナスの2つのイオン）がトイレの鉢内に行き渡り、水のかからない便座裏や、便器内の浮遊カビ菌^{*1}や付着菌^{*2}を除菌。トイレのにおいの元となる「におい原因菌^{*3}」を除菌することでおいの発生を抑えます。

■鉢内除菌の動作方法

- ※ スイッチを押して便フタを閉じると、断続運転を始めます。
- ※ 鉢内除菌セット時に人を検知すると、一時的に鉢内除菌を停止します。
- ※ 鉢内除菌セット時に人を検知および便フタを開くと、鉢内が一定時間青く光ります。
- ※ 鉢内除菌セット時に脱座後、便器洗浄すると、鉢内が一定時間青く光ります。
- ※ 鉢内除菌セット時に便フタを閉じると、鉢内が青く点滅します。
- ※ 退室後（便フタ閉後）は再び断続運転を始めます。



1 【イオン】を押す

※ 本体表示部のプラズマクラスター表示が点滅します。

※ 吹出口からイオンを放出して自動運転を開始します。

● 洗浄ボタン（表示部 / 受光部）



プラズマクラスター表示



【イオン】

2 止めるときは、もう一度【イオン】を押す

※ 本体表示部のプラズマクラスター表示が消灯します。

（参考）

- 鉢内除菌動作時には送風の音がします。
- イオン発生器で発生するオゾンのにおいがすることがありますが、濃度はごくわずかです、健康上問題ありません。
- イオンの効果を発揮するために、便フタを閉じた状態にする必要があります。
- 使用する際は、フルオート便座を「入」にするか〈フルオート便座付の場合〉便フタを手動で閉じてください。
- 便フタを取り外して使用すると鉢内除菌は動作しません。
- 鉢内除菌セット時に光る、または点滅する青いライトを消すことができます。（P.25 ページ）

※ 1.（浮遊カビ菌）

試験機関：（財）石川県予防医学協会

試験方法：8畳相当の実験室にプラズマクラスターイオンを放出し、浮遊カビ菌をエアースAMPLERにて測定。

（プラズマクラスターイオン濃度：3,000 個/cm³）

試験効果：約 195 分で除菌率 99%

効果効能：8畳相当試験空間におけるプラズマクラスターイオン発生器を用いた実証結果、イオン濃度が同等であれば同等の結果が得られると考えられます。

※ 2.（付着菌）

試験機関：（一財）日本食品分析センター

試験方法：約 9L の試験空間にて菌を試験片に付着させプラズマクラスターイオンを放出。

その後、試験空間内の試験片を回収し、2日間培養後、菌の除去率を算出。（プラズマクラスターイオン濃度：90,000 個/cm³）

試験効果：40 時間で除去率 99% 以上

試験成績書発行番号：第 12086808001-01 号

効果効能：実使用空間での実証結果ではありません。使用・環境条件（温度・湿度）によっては効果が異なります。鉢内除菌は付着菌を除菌するもので、清掃不要になるものではありません。

※ 3.（におい原因菌）

試験機関：当社調べ

試験方法：約 9L の試験便器空間に、におい原因菌を付着させた試験片を置き、プラズマクラスターイオンを放出。

その後、試験空間内の試験片を回収し、2日間培養後、菌の除去率を算出。（イオン濃度：70,000 個/cm³）

試験効果：30 時間で除去率 99% 以上

効果効能：使用・環境条件（温度・湿度）によっては効果が異なります。鉢内除菌は付着菌を除菌するもので、清掃不要になるものではありません。においの種類・強さなどによって、におい除去効果は異なります。



もっと快適に

お好みの設定に

各種の設定を変更することができます。

操作方法のボタンを同じタイミングで2秒以上押すことで設定を「入」にすることができます。

機能説明		操作方法
フルオート便座 開閉モード変更	フルオート便座の設定を便座・便フタ同時に開くように変更できます。	【止】 + 【便座 開 / 閉】
フルオート便座 検知時間変更	便フタをリモコンまたは、手で閉めた後、再度人体検知センサーが働き便フタが開くまでの時間を変更できます。 初期設定 → 15 秒 → 20 秒 → 30 秒 → 5 秒	洗浄位置 【前】 + 流す 【大】
自動脱臭	自動で脱臭が動作しないようになります。	【止】 + 【ビデ】
便座ヒーター オート OFF	便座に座ると自動で便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドがおこりにくくなります。	【ビデ】 + 【マッサージ】
青ライト	鉢内除菌の青ライトを消すことができます。	【節電】 + 【ビデ】
洗浄強さを さらに強くする	シャワールの洗浄強さ「強」を、さらに1段階強くすることができます。	【おしり】 + 【節電】
便器洗浄の 開始時間を変更 する	フルオート便器洗浄の、立ち上がってから自動的に便器洗浄を開始する時間を切り替えることができます。 ※ 同じ操作をするたびに、開始時間が、6 秒 → 10 秒 → 15 秒 → 2 秒 → 6 秒…の順に切り替わります。(下図参照) 初期設定 → 6 秒 → 10 秒 → 15 秒 → 2 秒 ※ 便フタ閉後洗浄モード【入】の場合は、立ち上がってから自動的に便フタが閉まり始まるまでの時間となります。	【止】 + 【ノズルそうじ】
リモコン操作音 OFF 入 / 切	操作時に本体から鳴るリモコン操作音を消すことができます。	【止】 + 【マッサージ】

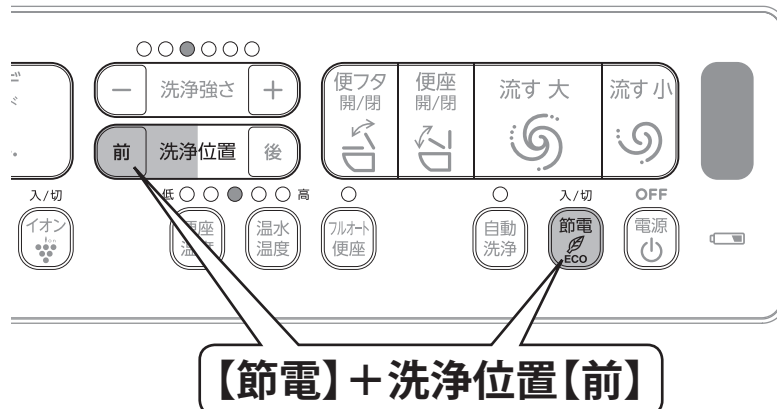
※ 設定を「入」にすると「ピッ」と音が鳴り、「切」またはお買い上げ時の設定に戻すと「ピー」と音が鳴ります。

元の設定に戻すときは、もう1度、操作方法ボタンを同じタイミングで2秒以上押す

お買い上げ時の設定に戻す

「便利な使い方」の操作で本商品の設定を変更した場合でも、すべての機能をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

【節電】と洗浄位置【前】を同じタイミングで2秒以上押す



■お買い上げ時の設定は

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。

機能説明		お買い上げ時の設定
脱臭	自動脱臭	入
	脱臭モード	通常モード
節電	ワンタッチ節電	切
	スーパー節電	切
洗浄強さ	「強」を更に強く	切
温水温度		低
便座温度		低
フルオート便座		入：フタのみ
		再び便フタを開くまでの時間：15秒後
便座ヒーターオート OFF		切
乾燥	温風始動温度	中
フルオート便器洗浄		入
		立ち上がってから6秒後に開始
便フタ閉後洗浄モード		切
凍結防止		切
鉢内除菌		切
青ライト		入
リモコン操作音 OFF 入 / 切		入

変更した設定の記憶について

「便利な使い方」などで設定を変更した場合、電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「切」にしても変更した設定は記憶されています。(ワンタッチ節電は電源プラグを抜くと設定がリセットされます。(☞ 22 ページ))



知っておいていただきたいこと

温水になるまで約 10 分かかります。

「おしり洗浄またはビデ洗浄」を長時間使用すると、シャワー温度がしだいに低下し、最後は水になります。温水になるまで約 10 分かかります。

シャワーと便座の温度は一定に調節しています。

シャワーは、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

温水タンク内制御温度

切（水温）、低（約 32℃）～高（約 40℃）

便座は、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

便座温度

切（室温）、低（約 28℃）～高（約 36℃）

着座センサーで誤操作を防止します。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。

- ※ 便座に座らないと [おしり洗浄]、[ビデ洗浄]、[乾燥（乾燥付の場合）] の各機能が作動しません。
- ※ 便座に便座カバー・便フタカバーを付けた場合、着座センサーが入りっ放しになったり、また入らなかったりすることがあります。
- ※ 便座に座っているときに停電し、そのままの状態で停電が直った場合、おしり洗浄などの操作ができない場合があります。こんなときはいったん便座から立ち上がり、1～2 秒たってから再度座ってください。

人体検知センサーが付いていて手を使わず開けられます。 〈フルオート便座付の場合〉

人が入室したことを検知して、便フタを自動的に開閉するための「人体検知センサー（上）」が付いています。

人体検知センサー（上）は熱の変化（人の動き）を検知しています。

夏場など、室温が高い場

合は、人と周囲の温度差が少ないのでセンサーが検知できないことがあります。便器の前で体を動かしてください。

※ 便器の斜め前や離れて立つと検知できずに便フタが開かないことがあります。

※ 人体検知センサー部が汚れていると、正常に作動しない場合があります。このような場合はセンサー部を柔らかく、きれいな布でふいてください。

※ 太陽光が直接センサーに当たったり、トイレ室内に暖房機器や強い熱を発する照明機器があると、熱でセンサーが誤検知し、便フタが自動で開く場合があります。

太陽光が直接当たらないようにしたり、暖房機器や照明機器の向きを変えてみてください。



便座・便フタはゆっくり閉じます。

便座・便フタには、誤って閉じたときなど、衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるように [スローダウン機構] が装備されています。

〈フルオート便座付の場合〉

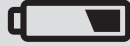
電源に接続されていない時は、スローダウンしません。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。



電池消耗お知らせサインが 付いています。

リモコンの「電池マーク」点滅は、電池消耗をお知らせするサインです。お早めに新しい電池に交換してください。



(☞ 49 ページ)

- ※ 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。（信号が弱くなるため）
- ※ トイレのドアを開けたままや「電池マーク」点滅時にリモコンのスイッチを押すと、まれに信号が本体に届かず作動しない場合があります。

省エネのために。

- 使用後は便フタを閉じる
 - 便座カバーを取り付ける
 - 便座や温水の設定はむやみに高温にしない
 - 季節の気温に合わせてこまめに温度調節をする
 - 節電機能のある機種ではできるだけ節電機能を利用する
 - 長時間の外出など、不在時はこまめに電源を切る
- ※ 便座カバーは、こまめに洗濯して清潔さを保ってください。
- ※ 凍結のおそれがある場合は、電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておく必要があります。「凍結しそうなときは」をご参照ください。
- (☞ 32 ページ)

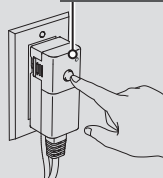
漏電が起こるとランプが点灯し、 電気を遮断します。

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「表示ランプ」を点灯させます。また、電源プラグに水がかかると「表示ランプ」が点灯する場合があります。

表示ランプが点灯したときは

- ① 電源プラグをコンセントから抜き、10 秒程度時間をあけて再び差し込みます。
- ② 「入ボタン」を押してランプを消灯させます。

表示ランプ



※ 上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または、LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。(☞裏面)

小用時には。

- 洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。座ってご使用いただければ、小便の飛散は軽減できます。
- 着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。

知
っ
て
お
け
ば
便
利
で
安
心



こんなときは

ノズルの付近から出る水は？

シャワー使用時とその前後、および温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。



※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。

洗浄強さが「弱」ではノズルが出てこない。

このシャワートイレは、水道圧によってシャワーを噴出する構造となっています。

水道圧が低いところでは、洗浄強さが最弱付近にあると、シャワーが届かないことがあります。

このようなときは、洗浄強さを強くしてください。

※ (☞ 16 ページ)

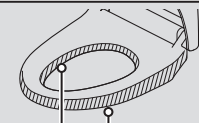
使い始めに温風がにおう。 〈乾燥付の場合〉

新しいうちは、温風が少しにおうことがありますが、故障ではありません。

ご使用とともに消えていきます。

便座の側面が冷たい。

便座の暖房機能は便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触ると冷たく感じる場合があります。



側面が冷たい

ラジオやテレビに雑音が入る。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。



結露が出た。

室温と便器・本体・止水栓の表面温度差や湿度により、便器・本体・止水栓の表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふき取ってください。

また、別売品として、結露防止カバー（止水栓用）（品番：CWA-106）を用意しています。（☞ 67 ページ）

※ 結露水は床のシミや破損の原因になります。

※ 本便器は結露しにくい構造になっていますが、室温などの条件により結露する場合があります。

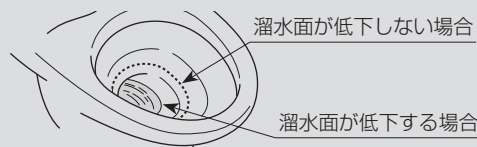
溜水面が低下したら

排水管の条件によって、便器洗浄時に排管内に負圧が発生し、便鉢内の水を引き込んでしまう場合があります。補給水を増やす、もしくは工事された業者様へご相談ください。

補給水の増やし方

溜水面が低下しなくなるまで補給水ハンドルを反時計回りに回して調整します。

※ 調整は無段階です。少しずつ回して確認してください。洗浄水量が約 2L 増えます。



補給水ハンドル（白）





洗浄水量の変更のしかた

洗浄水量を増やす

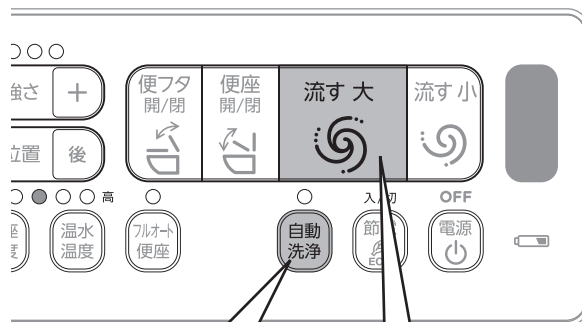
お買い上げ時の設定より、大洗浄と小洗浄の洗浄水量を各 +1L に増やせます。

- 流す【大】と【自動洗浄】を同じタイミングで 2 秒以上押し、洗浄水量を 1L 増やす。

※ セット完了時、「ピッ」という音になります。

お買い上げ時の洗浄水量

大洗浄・小洗浄 各 + 1L



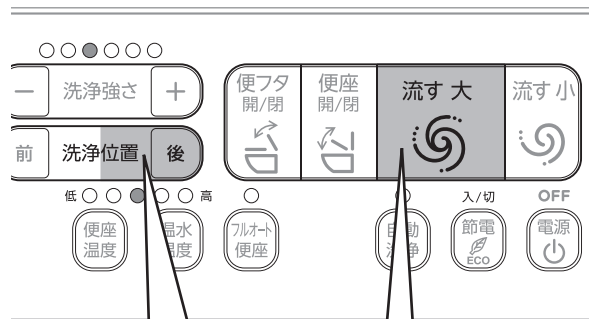
流す【大】+【自動洗浄】

洗浄水量をお買い上げ時の設定に戻す

増やした洗浄水量をお買い上げ時の設定に戻せます。

- 流す【大】と洗浄位置の【後】を同じタイミングで 2 秒以上押し、洗浄水量をお買い上げ時の設定に戻す。

※ セット完了時、「ピー」という音になります。



流す【大】+ 洗浄位置【後】

知っておけば便利で安心



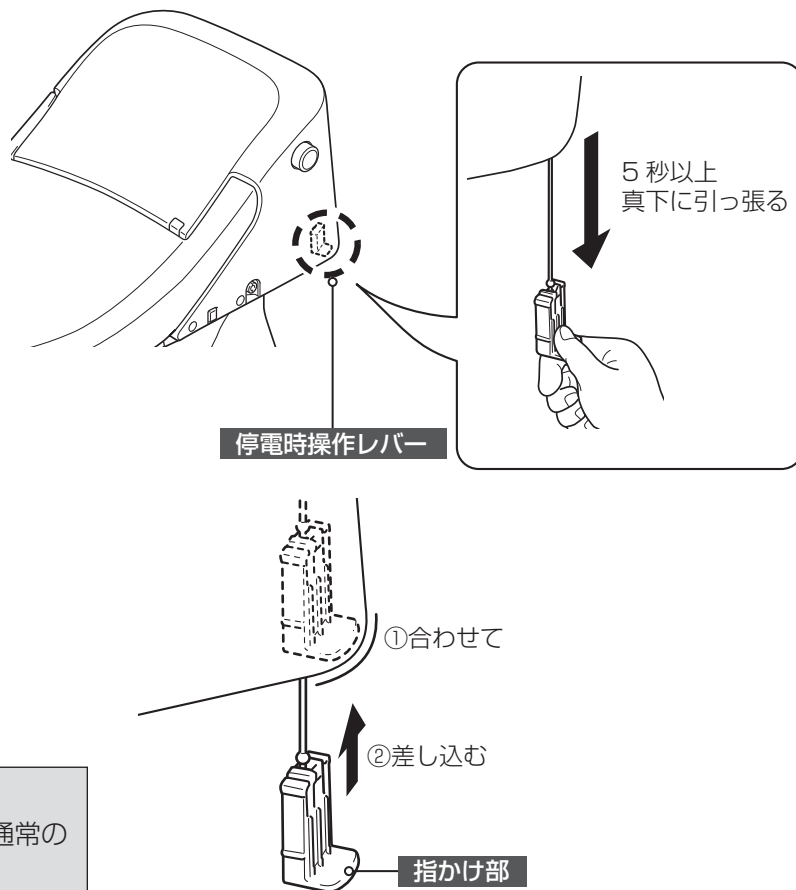
停電・断水したときの便器洗浄のしかた

停電したときの便器洗浄

停電時は便器洗浄の操作ができません。便器に向かって右奥の停電時操作レバーを真下に強く引っ張って、水が流れてから5秒以上保持してください。

便器洗浄後は停電時操作レバーを元の位置に戻してください。

※ 本体の外側と停電時操作レバーの指かけ部の外側を合わせて戻してください。



【注意】

- 停電時操作レバーを元の位置に戻しないと、通常の洗浄時に本体との干渉音が発生します。

断水したときの便器洗浄

バケツ1杯(5～6L)の水を、水飛びに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。

最後に、便器内の水位が通常の高さになるように1～2Lの水を注いでください。

※ うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く(短時間に一気に)して、再度行ってください。

※ 小洗浄も同じように流してください。



【注意】

- バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すときなど、床に水がこぼれないように十分に気をつけてください。
- コンセント部分に水がかからないようにご注意ください。



凍結しそうなときは

冬期などの冷え込みが厳しい場合、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。
凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。

(電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておきます。また、節電機能は解除します。)

室内を暖房できる場合： 「一般的な凍結防止方法」をご確認ください
室内を暖房できない場合： 流動方式ができる場合：「流動方式の凍結防止方法」をご確認ください。
建物に水抜栓がある場合：「水抜方式の凍結防止方法」をご確認ください。

⚠ 注意

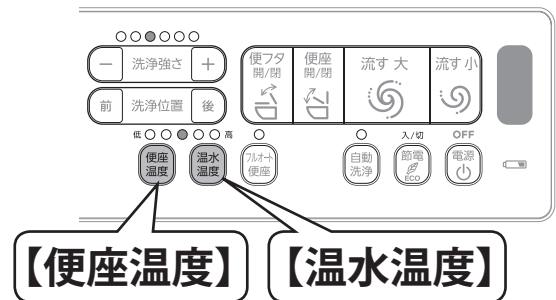


指示実行

凍結のおそれがある場合は、
必ず凍結防止操作を行う。
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

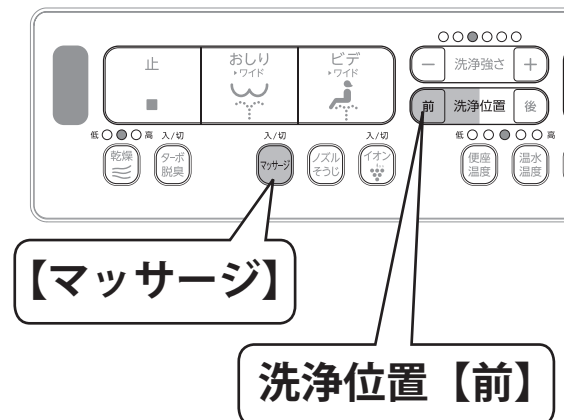
一般的な凍結防止方法

- 1 【温水温度】を「高」、【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる
- 2 節電を解除する (👉 22 ページ)
- 3 室内を暖房する



流動方式の凍結防止方法

- 1 【温水温度】を「高」、【便座温度】を「高」にして便フタを閉じる
- 2 節電を解除する (👉 22 ページ)
- 3 流動の設定を「入」にする。
【マッサージ】と洗浄位置【前】を同じタイミングで2秒以上押す。
※ 使用されていない間、4分間隔で便器を洗浄し、凍結を防止します。



流動状態を解除するとき

【マッサージ】と洗浄位置【前】を同じタイミングで2秒以上押す。



凍結しそうなときは

水抜方式の凍結防止方法

1【温水温度】を「高」、【便座温度】を「高」にして、便フタを閉じる

2 節電を解除する (☞ 22 ページ)

3 建物の水抜栓を操作して、配管内の水を抜く

※ 水抜栓を操作する場合は、止水栓を閉じないでください。

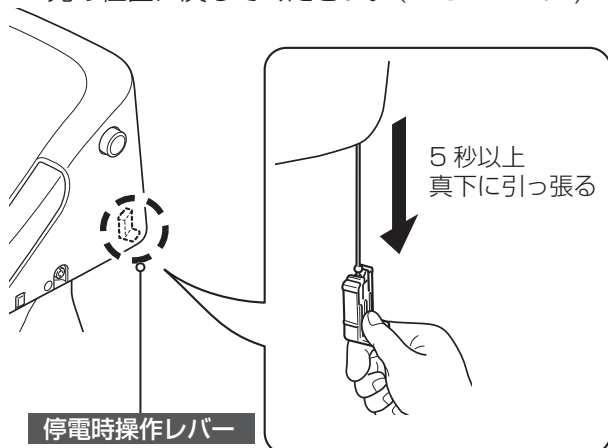
※ 詳しい操作方法是水抜栓の取扱説明書をご確認ください。

※ 誤って水抜栓ではなく止水栓を閉めて実施した場合は製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれがあります。

4 ロータンク内の水を抜く

停電時操作レバーを5秒以上真下に引っ張る

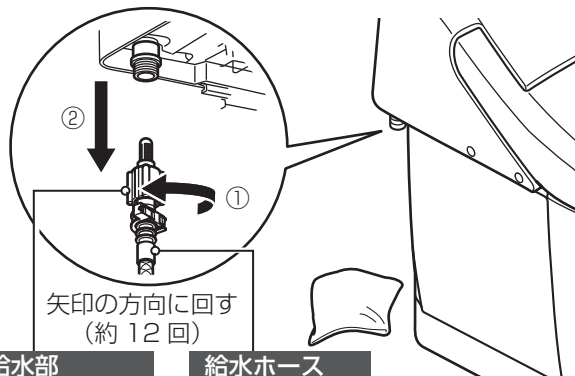
※ ロータンク内の水抜き後は、停電時操作レバーを元の位置に戻してください。(☞ 31 ページ)



5 給水ホースから水を抜く

① 「ストレーナー」の下に布などを置く

② ストレーナーを外して、ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして完全に取除く

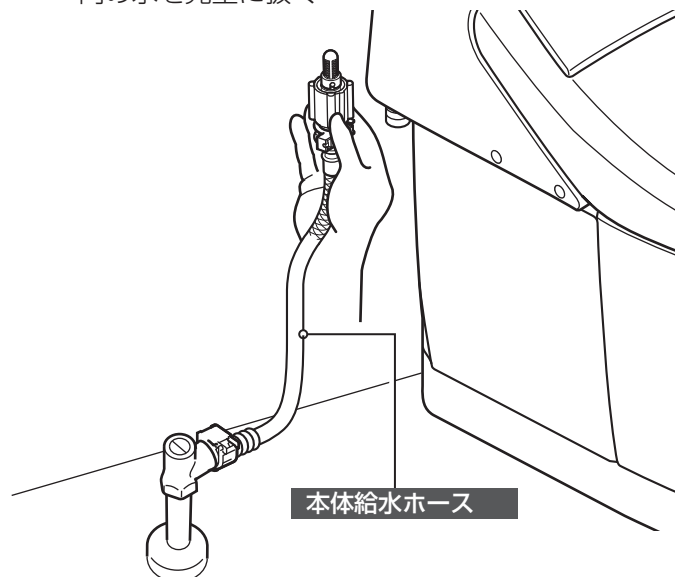


【注意】

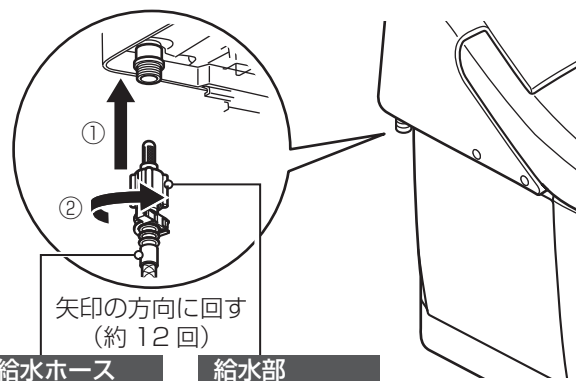
- ストレーナーを外す際に、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

③ 【ノズルそうじ】を押し、本体バルブ内の水を抜く
(水がすべて抜けるまで約4分かかります。)

④ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜く



6 水抜き完了後、ストレーナーをしっかりと締め付ける



⚠ 注意



指示実行

- ストレーナーを外すときは、必ず水抜栓を操作する。
- ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかりと閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。

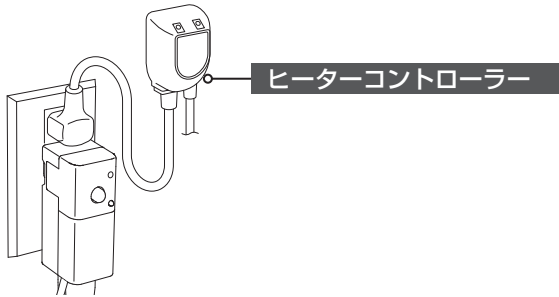
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

水抜方式の凍結防止方法（つづき）

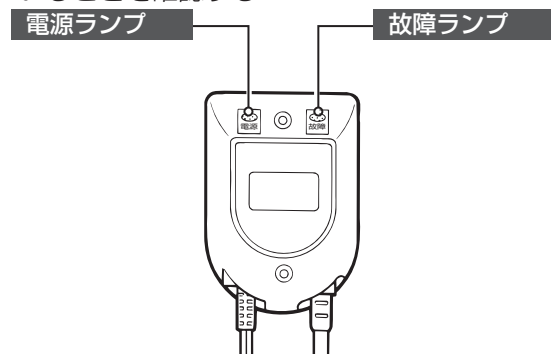
■ ヒーター付便器を暖める

〈ヒーター付便器の場合〉

- ① 「ヒーターコントローラー」の「電源プラグ」をコンセントに差し込む



- ② 「電源ランプ」が点灯、「故障ランプ」が消灯していることを確認する



- もし凍結してシャワーが出なくなったら
 万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

【注意】

- 給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
 ※ 給水ホースが破損するおそれがあります。
- 凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子を見てください。
- 水抜方式で止水栓付便器の場合、止水栓は必ず全開でご使用ください。
 ※ 凍結のおそれがあります。



長期間使用しないときは

長期間使用しない場合は、止水栓を閉め、電源を抜いてください。(故障発生時に被害が大きくなるおそれがあります。)

また、以下の場合は下記の手順にしたがって、温水タンク及び給水ホースの水抜きを行ってください。

●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。(水が汚れて詰まりの原因になります。)

●別荘などで使用しないとき。(人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結するおそれがあります。)

水抜きのしかた

1 「止水栓」を閉めて、給水を止める

2 ロータンク内の水を抜く

停電時操作レバーを5秒以上真下に引っ張る

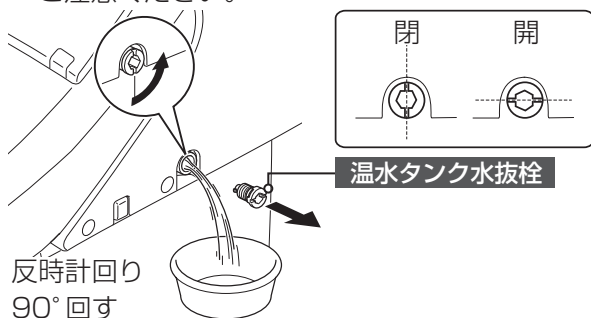
※ ロータンク内の水抜き後は、停電時操作レバーを元の位置に戻してください。(☞ 31 ページ)

3 電源プラグをコンセントから抜く

4 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く

※ あらかじめ水受け (約 1L 以上入るもの) を用意します。マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに 90° 回して外します。

※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。



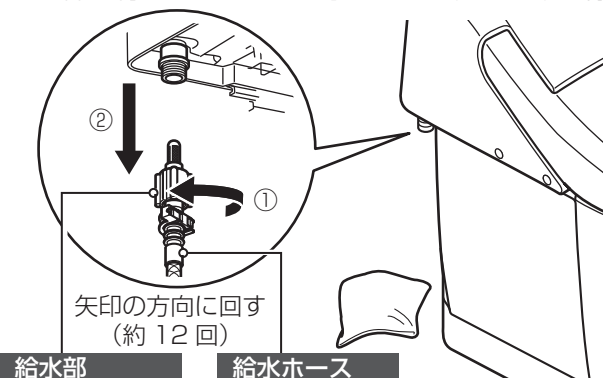
5 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける

※ マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに 90° 回して確実に取り付けます。

6 給水ホースから水を抜く

① 「ストレーナー」の下に布などを置く

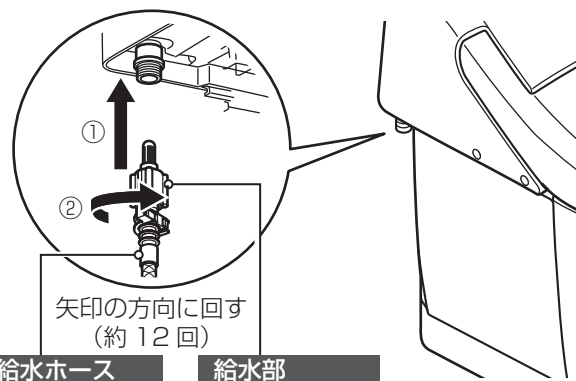
② ストレーナーを外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取除く



【注意】

● ストレーナーを外す際に、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

- ③ 電源プラグをコンセントに差し込む
- ④ 【ノズルそうじ】を押し、本体バルブ内の水を抜く
- ⑤ 電源プラグをコンセントから抜く
- ⑥ 水抜き完了後、ストレーナーをしっかりと締め付ける



⚠ 注意



指示実行

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

8 止水栓部から水漏れしていないか確認する

水抜きのかた（つづき）

■ 凍結のおそれがあるとき

- 便器内の水を抜き、不凍液やバスタオルなどで排水口をふさいでください。
 - ※ 不凍液はそのまま流さないでください。
不凍液は回収し、廃棄処理してください。
浄化槽への悪影響や、環境汚染のおそれがあります。
 - ※ 排水口をふさぐ場合は、しっかりふさいでください。異臭や害虫が侵入するおそれがあります。
- 配管内から水を抜く必要があります。水抜き方式をお使いの方は、上記の手順に加えて建物の水抜き栓を操作して、配管から水を抜いてください。（☞ 33 ページ）水抜き栓を操作した後は、止水栓を開いてください。

■ 再び使用するとき

必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 8 ページ）



お掃除・お手入れ

お手入れの効果を正しくあげるため、汚れや場所にあった洗剤、道具を使いましょう。
また、少しでも楽にお掃除・お手入れしたい方にはおすすめの便利グッズもあります。
ただし、使ってはいけない道具・洗剤もありますのでご注意ください。

お掃除道具

種 類		使う場所
柔らかい布	使い古したタオル、着古したTシャツなどを適当なサイズに切ってお使いください。	便座・便フタ カバー類・便器部
スポンジ	小さく、できるだけ柔らかなもの。	ノズル先端部
トイレ用ブラシ	便器の内側掃除の必需品。 ※ 研磨材付きや金属製のブラシは陶器表面にキズを付けるおそれがあるので、避けてください。	便器部
ゴム手袋	手荒れ防止に。水や洗剤が入らないように折り返して使いましょう。	—
歯ブラシ	隠れた部分や細かいところに大活躍。使い古しのものを。	便器吐水口

洗剤

種 類		使う場所
トイレ用中性洗剤	便器（陶器部）の黄ばみや黒ずみを落とします。	便器部
研磨材なしの洗剤	※ スタンプ式洗剤をご使用の場合、貼り位置によっては洗浄不良や飛沫が発生するおそれがあります。	

便器のお掃除には、次の洗剤・道具は使用しないでください。

- 強いアルカリ性の洗剤または漂白剤
- 研磨材入りの洗剤
- フッ素系洗剤（フッ化水素、フッ化アンモニウムを含む）
- 撥水作用や表面コート作用などがある洗剤やお掃除道具※
- 金属製や研磨材入りのブラシなど表面を傷つけるお掃除道具

※ 成分が陶器表面を覆ってしまい、防汚効果が十分発揮できなくなります。使用してしまった場合は食器用中性洗剤やメラミンスポンジで除去することで効果を還元できます。

※ アクアセラミック仕様の場合、便器品番の先頭に「Y」が付いています。（例：YBC-XXXX）

アクアセラミックは親水性が高く、鉢面に付着した汚物が落ちやすいですが、お掃除が不要になるものではありません。また、陶器表面に汚れが残っていたり、便の状態によっては落ちづらい場合があります。定期的なお掃除をお願いします。



LIXILのお掃除グッズ（☞ 67 ページ）

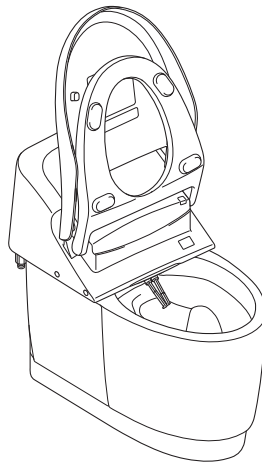
種 類		使う場所
トイレ用お掃除ティッシュ 〈CWA-36-4SET〉	プラスチックを傷めず、除菌効果に優れています。 使用後、便器にそのまま流せます。	便座・便フタ・カバー類
シャワートイレお掃除 クリーナー 〈CWA-20〉	プラスチックを傷めないスプレー式。シュッと吹きかけふき取るだけ。脱臭剤配合で、便器にも使えます。	便座・便フタ・ カバー類・便器部
お掃除ブラシ 〈CWA-48・CWA-48-A〉	便器のアクアセラミック表面にキズを付けません。 便鉢の裏側まできれいにできます。 ※ CWA-48-A はケースがつかません。	便器部

お掃除の場所と汚れの種類

便フタ・便座・カバー・リモコン	39 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

便座と便フタのすき間	40 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

本体と便器のすき間	41 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	



ノズルシャッター	43 ページ
水アカ・小水のシミ	

ノズル	44 ページ
水アカ・小水のシミ	

便器	42 ページ
カビ・バクテリア・尿石	

[注意]

- お掃除・お手入れのときは、自動洗浄を「切」、フルオート便座〈フルオート便座付の場合〉を「切」にして行ってください。(☞ 14、19 ページ)
- ※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れたり、便座・便フタが閉じたりします。

⚠ 警告



禁止

シャワートイレ本体や、電源プラグに水や洗剤・薬品（消毒薬・除菌薬）を直接かけない。

※ 変色やひび割れなど製品を痛める原因となったり、金属部品の腐食・劣化による感電・発煙や火災の原因になります。

⚠ 注意



指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。

※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災のおそれがあります。



□お掃除・お手入れ方法

- 便座・便フタのお掃除 39
- 便フタを外して掃除する 40
- 本体を浮かせて掃除する【お掃除リフトアップ】 41
- 便器のお掃除 42
- ノズルシャッターを清潔に 43
- ノズルのお掃除 44
- ノズルの先端を取り替えたい 45
- サイドカバーの外しかた 46
- 脱臭効果が弱くなったら 47
- 給水時間が長くなったら／シャワーが弱くなったら 48
- リモコンの電池マークが点滅したら 49
- 電源プラグ（漏電保護機能付）の点検 50



便座・便フタのお掃除

便座・便フタ・カバー類・リモコン（プラスチック部）のお掃除

● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

● お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。（☞ 67 ページ）

水ぶきするのはなぜ？

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

使用できる洗剤は？

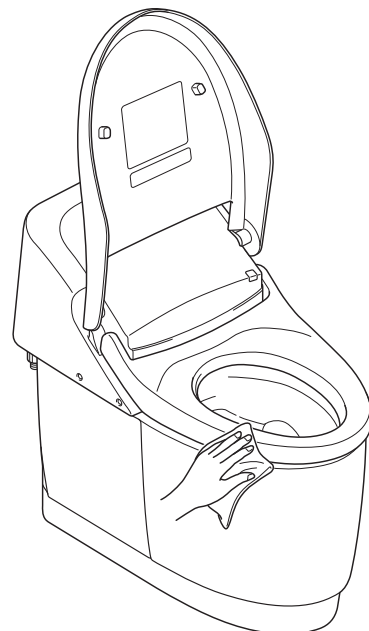
当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」をおすすめします。
市販の便座用洗剤も使用できますが、中には適さない商品もあります。

ご不明な点は洗剤・薬品（消毒薬・除菌薬）メーカーに確認してから使用してください。

※ 別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（☞ 67 ページ）をご覧ください。

すき間もお掃除がしたい

本体を浮かせて便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 41 ページ）
便フタを簡単に外せます。（☞ 40 ページ）



〔注意〕

- 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
※ キズが付く原因になります。
- 消毒液や除菌剤の日常的な使用はお控えください。
※ 変色やひび割れなど製品を痛める原因や金属部品の腐食・劣化による発煙や発火の原因になります。
- リモコンのお掃除をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※ シャワートイレが誤作動することがあります。

❖キレイ便座について

キレイ便座は、汚れのたまりやすい便座のつなぎ目をなくした、お掃除のしやすい便座です。

❖KILAMIC 抗菌商品について

- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。したがって感染などが防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

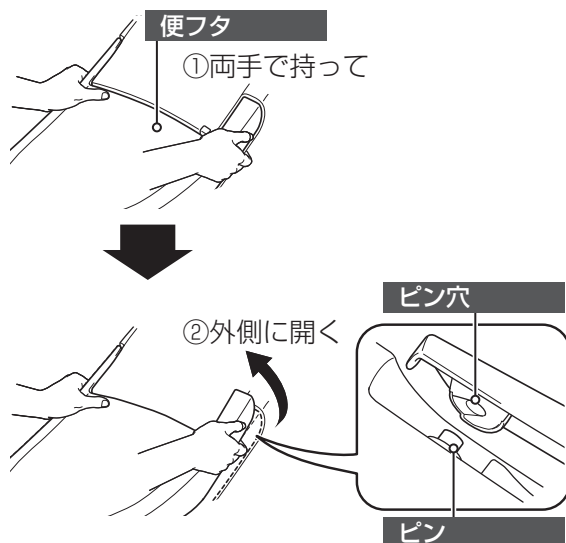


便フタを外して掃除する

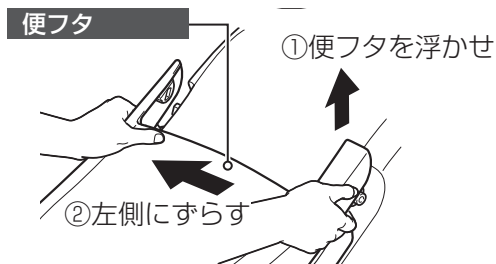
便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部を掃除するときや便フタを丸洗いするのに便利です。

便フタの取外し

- ❶ 電源プラグをコンセントから抜く
- ❷ 便フタを閉じた状態で両手で持ちながら、右側を外側に開くように上げて、本体右側のピンから便フタ右側のピン穴を外す



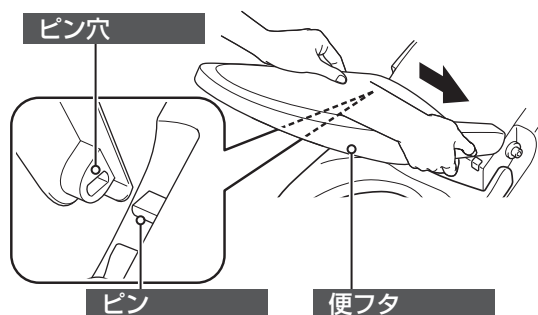
- ❸ 便フタを浮かせて左側にずらし、便フタを外す



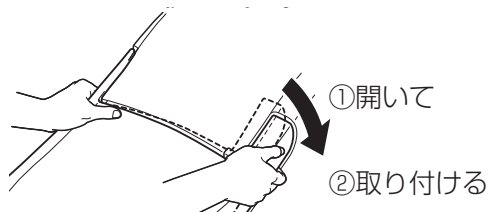
便フタの組付け

- ❶ 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込む

※ 本体のピンの角度に合わせて便フタを傾けて取り付けてください。



- ❷ 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴と本体右側のピンを合わせて、便フタを取り付ける



- ❸ 電源プラグをコンセントに差し込む

■ 再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
(☞ 8 ページ)

【注意】

- 便フタを外すときは必ず電源プラグを抜いてください。
※ 内部部品が破損するおそれがあります。
- 便フタに無理な力を加えないでください。
※ 破損するおそれがあります。
- 便フタを外した状態で便座を開かないでください。
※ カバーや便座にキズが付いたり破損するおそれがあります。
- 便フタを外したまま使用しないでください。



本体を浮かせて掃除する【お掃除リフトアップ】

本体（便座とともに）を浮かすことができますので、普段手の届かない本体と便器の間が掃除できます。

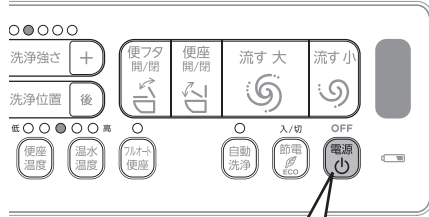
詳しくは動画でご覧いただけます。



本体の浮かせかた

①【電源】を押して「切」にする

※ 本体表示部の「電源表示」（緑色）の消灯を確認してください。
リモコンの電源 OFF ランプは、数秒点灯します。

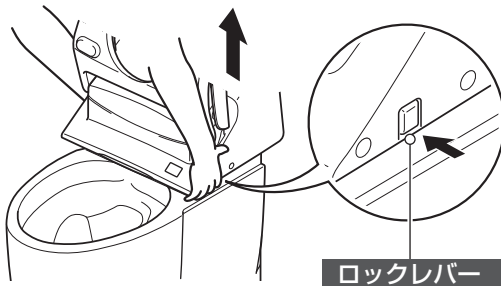


【電源】

② 便フタ・便座を開く

③ 本体右側のロックレバーを押しながら、本体が上に突き当たるまで静かに持ち上げる

※ 本体は約 4 cm 持ち上がります。
※ 本体が水平に安定することを確認してください。



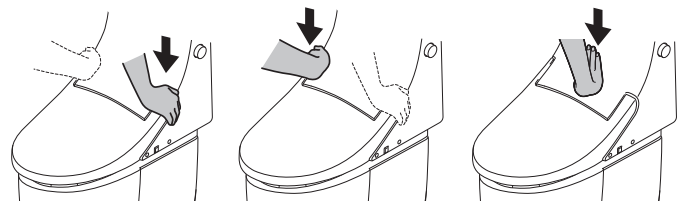
④ すき間の掃除をする

本体の戻しかた

① 便座・便フタをゆっくり閉じる

② 本体を下記の手順で左右片方ずつ真下に降ろす

① 本体を右側から ② 本体の左側を押 ③ 本体の中央部
押し下げます。 し下げます。 を押し下げて
固定します。



※ 本体を押し下げる際に、ガタンと音がある場合がありますが故障ではありません。

③【電源】を押して「入」にする

※ 本体表示部の「電源表示」（緑色）の点灯を確認してください。リモコンの電源 OFF ランプ以外の表示ランプは、数秒点灯します。



【電源】

（参考）

● 掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」(P. 43 ページ)をご覧ください。

【注意】

- 無理に持ち上げたり、押さないでください。
※ 故障の原因となります。
- 本体を浮かせたまま使用しないでください。
※ 故障の原因となります。
- 操作はゆっくり行ってください。
- 無理な姿勢で持ち上げないでください。
- 便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に残らないように水ぶきしてから本体を戻してください。
※ 洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
- 本体を上から押さえると本体が降りてくる可能性があります。

- 本体を大きくゆらさないように注意してください。
- 便座・便フタを上からおさないようにしてください。
※ シャワートイレ本体、陶器部の破損や転倒によるケガの原因になります。
- 本体を降ろすときに、指を挟まないようにしてください。
※ ケガをするおそれがあります。
- 斜めに本体を降ろすとロックがかからない場合があります。
- 洗浄ボタンに手が触れないようにしてください。
※ 誤作動の原因になります。
- リフトアップロックレバーが元の位置まで入っていることを確認してください。



便器のお掃除

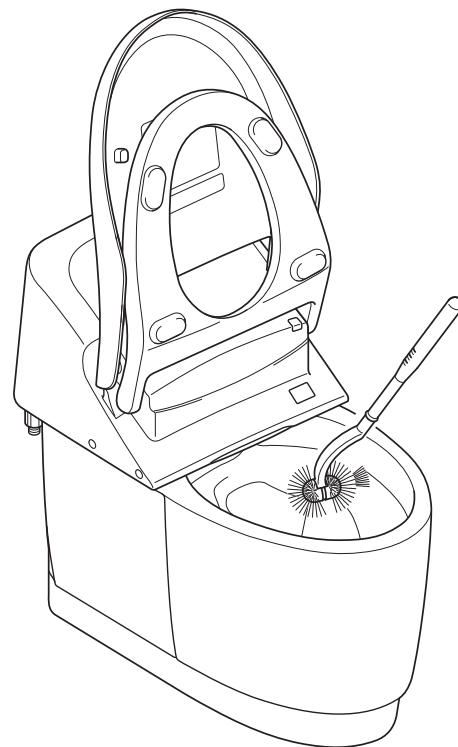
便器（陶器部）のお掃除

※ アクアセラミック仕様の場合、便器品番の先頭に「Y」が付いています。（例：YBC-XXXX）

- 柔らかいブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。
- 当社純正の「お掃除ブラシ」（別売品）をおすすめします。（☞ 67 ページ）

[注意]

- 洗剤使用時の注意点は「安全上のご注意」をご覧ください。（☞ 4 ページ）
- 使用可能な洗剤・お掃除道具は「お掃除・お手入れ方法」をご覧ください。（☞ 37 ページ）
- 熱湯はお使いにならないでください。
※ 便器が破損することがあります。



すき間もお掃除がしたい

本体を浮かせて便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 41 ページ）

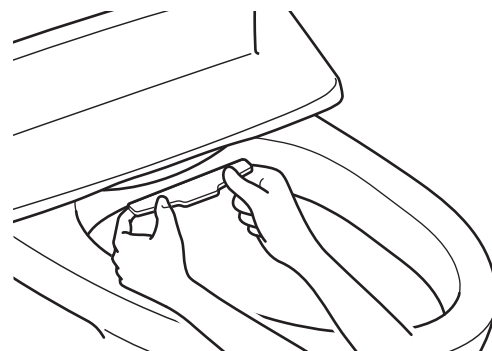


ノズルシャッターを清潔に

● 柔らかい布で水ぶきしてください。

【注意】

- 乾いた布やトイレトペーパーでふかないでください。
- 歯ブラシでこすらないでください。
※ キズが付く原因になります。



ノズルシャッターを取り外し、掃除することができます。

ノズルシャッターの取外し

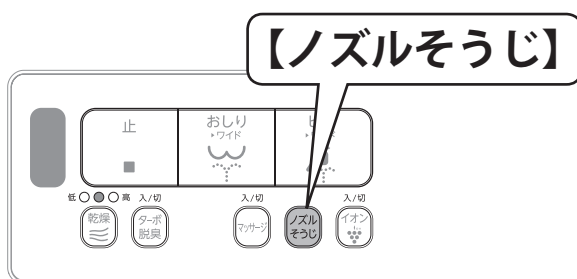
①【自動洗浄】と【フルオート便座】〈フルオート便器洗浄付、フルオート便座付の場合〉を「切」にする

※「切」にしないと、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。

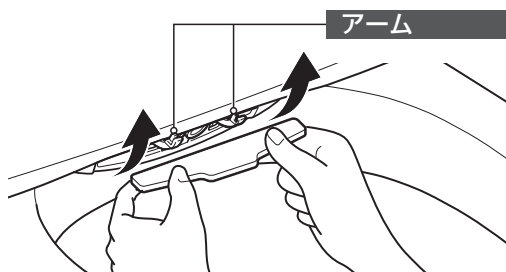
② 便フタ・便座を開く

③【ノズルそうじ】を押し、ノズルシャッターを開く

※ ノズル本体が少し前に出て、ノズルシャッターを押し上げます。このときノズルから約3秒間水が出ます。



④ ノズルシャッターを両手で手前に引っ張り、取り外す



※ 取り外しにくい場合は、アームを押さえながら外してください。

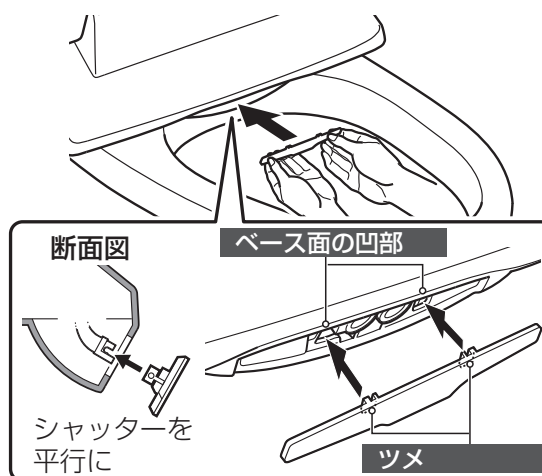
⑤【止】を押し、前に出ているノズルを戻す

⑥ 取り外したノズルシャッターを掃除する

ノズルシャッターの取付け

① ノズルが前に出ている状態で、ノズルシャッターのツメ（2カ所）をベース面の凹部に強く押し込む

※ ノズルが前に出ている場合は、【止】を押して戻します。



【注意】

- “カチッ”と音がするまで押し込んでください。また、シャッターが正しく取り付けられたことを確認してください。
- シャッターには、上下の向きがあり、決まった方向にしか取り付けできません。
- 無理な力を加えないでください。
※ 破損するおそれがあります。



ノズルのお掃除

ノズルの掃除には、以下の方法があります。

- 使用中（着座中）にお好みでノズルを洗うことができます。“リモコンノズル洗浄”
- 日頃の掃除時、ノズルを引き出し、しつこい汚れをスポンジなどで落とせます。

使用中（着座中）のノズル掃除

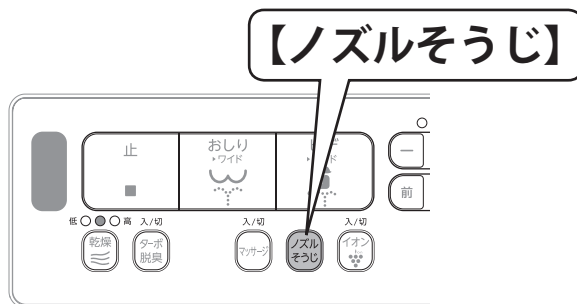
●使用中（着座中）にノズルを洗いたい。（リモコンノズル洗浄）

1【ノズルそうじ】を押す

※ ノズル本体が少し前に出て、約3秒間洗浄します。

❖オートクリーニング機能について

おしり洗浄およびビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄するオートクリーニング機能が付いています。

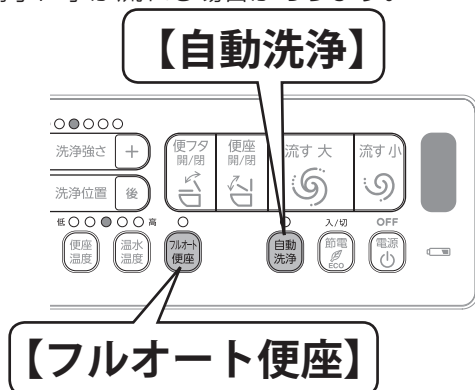


お手入れ時のノズル掃除

●お手入れ時、ノズルをしっかり掃除したい。

1【自動洗浄】と【フルオート便座】〈フルオート便器洗浄付、フルオート便座付の場合〉を「切」にする

※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。



2 便フタ・便座を開く

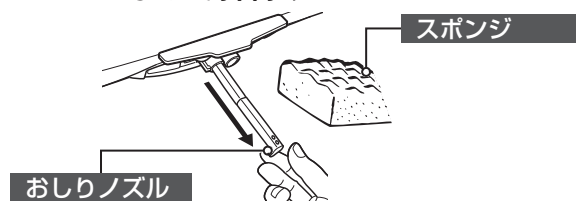
3【ノズルそうじ】を押し、ノズルシャッターを開く

※ ノズル本体が少し前に出て、ノズルシャッターを押し上げます。このときノズルから約3秒間水が出ます。

4 ノズルを引き出す

※ 少し伸び出たノズルから、おしりノズル、またはビデノズルを手で引き出します。

5 スポンジなどで掃除する



※ 約5分たつと、ノズルは自動で戻ります。ノズルが戻った後、もう一度【ノズルそうじ】を押すと、再びノズル本体が少し前に出て、ノズルシャッターを押し上げます。

（参考）

- 掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」（☞ 43 ページ）をご覧ください。

6【止】を押す

※ ノズルが戻ります。



【注意】

- ノズルに強い力をかけないでください。
※ 故障の原因になります。
- ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。
※ 故障の原因になります。
- 歯ブラシでこすらないでください。
※ キズが付く原因になります。



ノズルの先端を取り替えたい

ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換することができます。

※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」(p.67 ページ)をご覧ください。

ノズル先端の取替え

①【自動洗浄】と【フルオート便座】〈フルオート便器洗浄付、フルオート便座付の場合〉を「切」にする

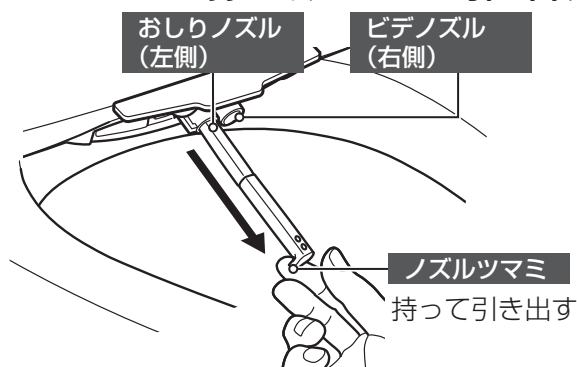
※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。

② 便フタ・便座を開く

③【ノズルそうじ】を押し、ノズルシャッターを開く

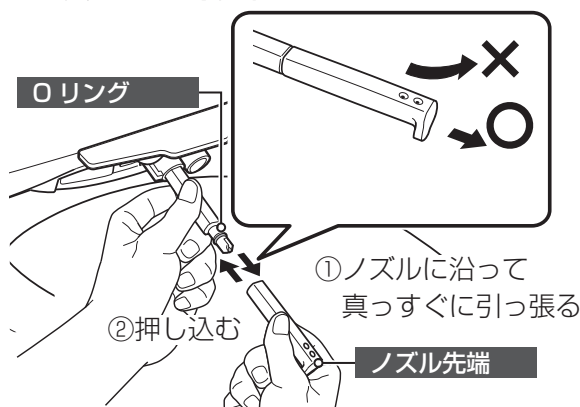
※ノズル本体が少し前に出て、ノズルシャッターを押し上げます。このときノズルから約3秒間水が出ます。

④ ノズルツマミを持って、ノズルを引き出す



⑤ 引き出したノズル先端を真っすぐに引っ張り、取り外す

※ノズル先端を引っ張る方向に注意し、ノズルに沿って真っすぐに引っ張ってください。



※ノズルシャッターが閉じてしまった場合は、もう一度【ノズルそうじ】を押し、ノズルを出してください。

⑥ 交換用のノズル先端を、ノズルに差し込む

※ノズルは、自動で本体内に戻る仕様になっています。ノズルが本体内に入ってしまった場合は、ノズル先端をそのまま押し込んで取り付けます。

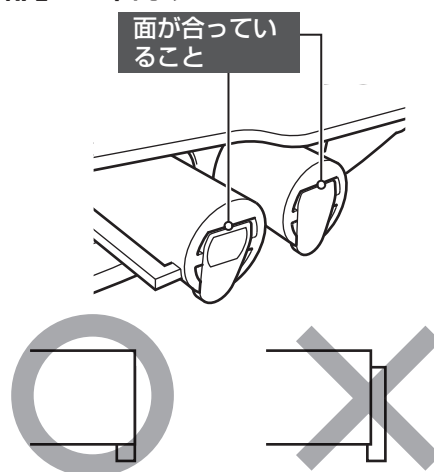
※ノズル先端が、確実にはまっていることを確認してください。

【注意】

- ノズル先端を取り外す際は、ノズルツマミを持たないでください。
- 取り外す際、陶器部などで、手をぶつけないよう注意してください。
- ノズルは、おしり用とビデ用があります。お間違えのないよう注意してください。
- ノズル先端は、穴が開いている方が上になるように取り付けてください。
- Oリングにキズを付けないよう注意してください。



⑦「結合部」を確認する



⑧【止】を押して、ノズルを戻す



サイドカバーの外しかた

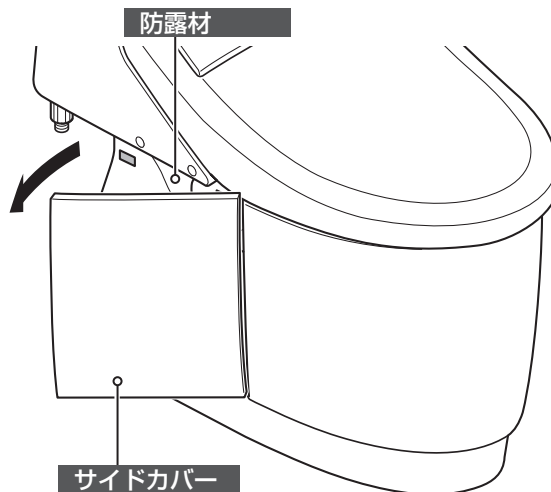
サイドカバーの外しかた

1 サイドカバーの後端部を持ち、取り外します。

※ 反対側も同様に取り外してください。

[注意]

- 防露材は便器の結露防止のための部材なので取り外さないでください。

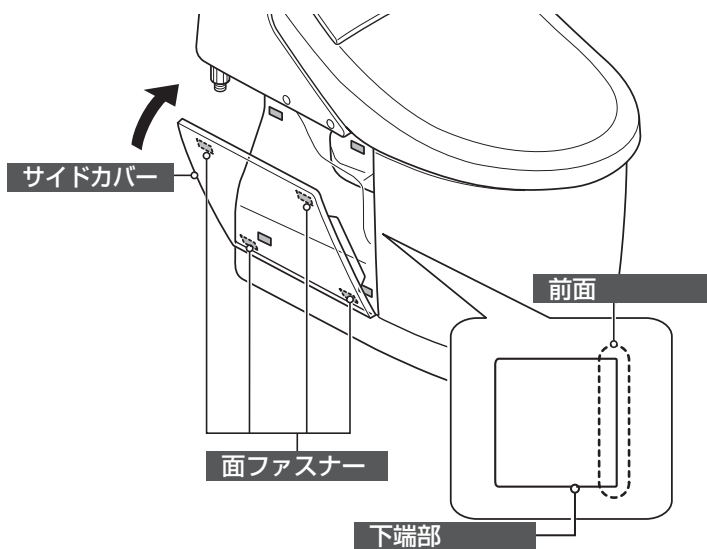


サイドカバーの取付けかた

1 サイドカバーの下端部を陶器の段に合わせ、前面を陶器の垂直面に当てて下側2箇所の面ファスナーに取り付けます。

2 そのままサイドカバーの上側2箇所の面ファスナーを取り付けます。最後にもう一度面ファスナー部を押さえ、外れないことを確認します。

※ 反対側も同様に取り付けてください。





脱臭効果が弱くなったら

「脱臭フィルター」にホコリなどが付着すると十分な脱臭ができなくなります。においが気になりだしたら、お手入れしてください。

脱臭フィルターのお手入れのしかた

❶【電源】を押して「切」にする

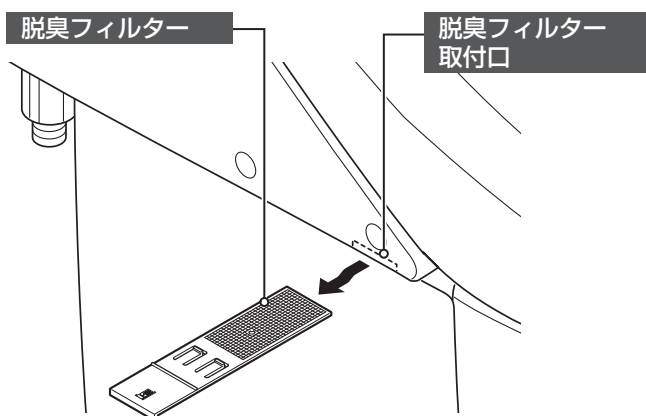
※ 本体表示部の「電源表示」（緑色）の消灯を確認してください。

リモコンの電源 OFF ランプは、数秒点灯します。

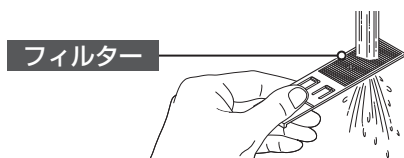


【電源】

❷ 本体左側面の「脱臭フィルター」を引き出す

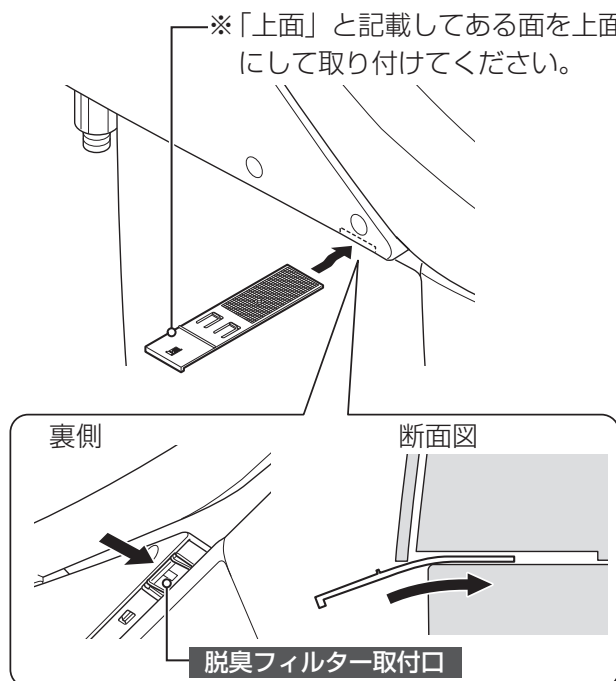


❸ 「脱臭フィルター」を水洗いし、ホコリなどを取り除く



❹ 「脱臭フィルター」を乾燥させ、取り付ける

※ 「上面」と記載してある面を上面にして取り付けてください。



❺【電源】を押して「入」にする

※ 本体表示部の「電源表示」（緑色）の点灯を確認してください。

リモコンの電源 OFF ランプ以外の表示ランプは、数秒点灯します。

❖脱臭フィルターのお手入れをしてもにおいが気になるときは

シャワートイレ内部ににおいを吸収する部品が入っています。

脱臭フィルターのお手入れをしてもにおいが気になるようでしたら、部品の交換を依頼してください。

(☞ 65 ページ)

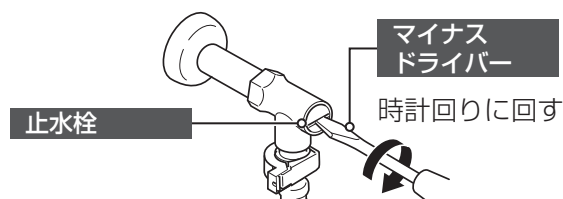


給水時間が長くなったら / シャワーが弱くなったら

長期間使用して便器洗浄やシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）

ストレーナーのお掃除のしかた

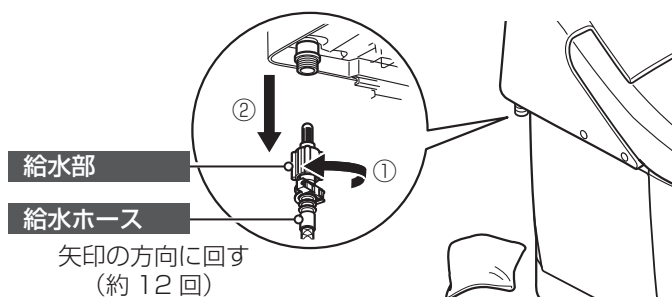
1 「止水栓」を閉めて、給水を止める



2 流す「大」を押す（☞ 19 ページ）

3 本体向かって左下にある「給水部」を回し、給水ホースごと取り外す

※ このときコップ半分ほどの水がこぼれますので、布などを下に置いてください。

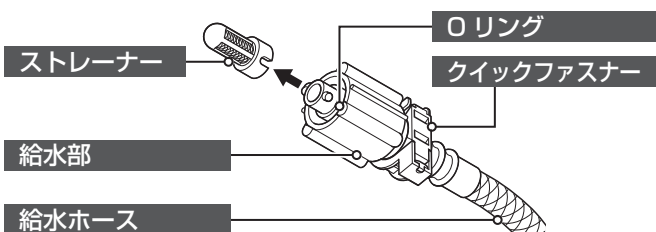


【注意】

- 給水部を外す際に、給水ホースが折れないように注意してください。
- 給水部を外す際は、クイックファスナーを持たないでください。

4 給水ホース内の水を完全に抜く

5 「給水部」から「ストレーナー」を取り外す



6 「ストレーナー」に付いているゴミを水洗いして完全に取除く

※ 流水または洗面器などに水を溜めて水洗いしてください。

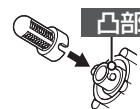
※ 水洗いで取れないゴミは、歯ブラシなどを使い洗い落としてください。



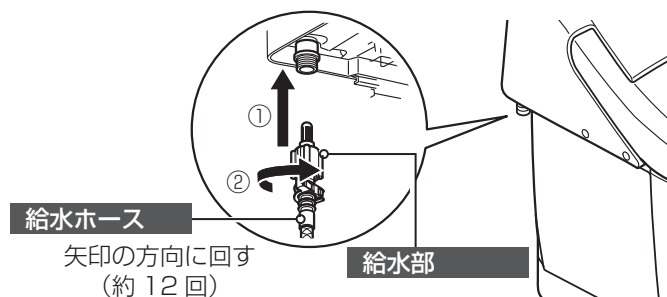
【注意】

- 針状のものでゴミを取らないでください。
- ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりとまっていることを確認してください。

7 ストレーナーを給水部の凸部に合わせて取り付け



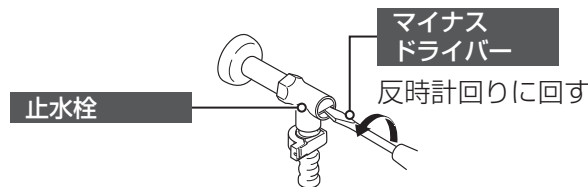
8 「給水部」をしっかり締め付ける



【注意】

- 締付後、再度増締めをし、緩みがないことを確認してください。

9 「止水栓」を元の位置まで開く



10 止水栓部から水漏れしていないか確認する

- 再び使用するとき必ずご使用前の準備と確認を行ってください。（☞ 8 ページ）

⚠ 注意



指示実行

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締める。



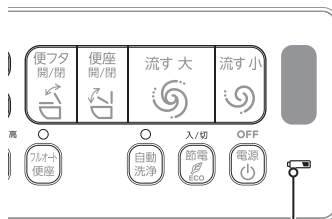
リモコンの電池マークが点滅したら

電池消耗により、「電池マーク」が点滅します。(➡ 28 ページ)

【注意】

- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコン表示通り正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ乾電池を使用してください。
- 電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。

〈壁リモコン〉



〈インテリアリモコン液晶部〉

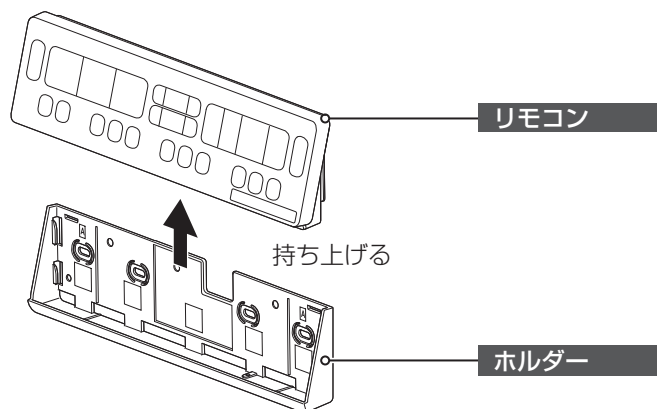


電池マーク

リモコンの電池交換

1 「リモコン」を「ホルダー」から外す

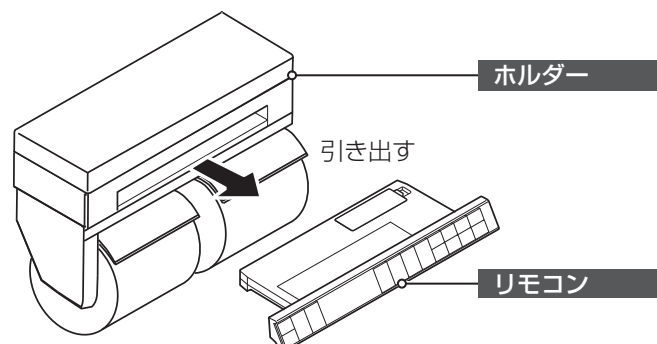
〈壁リモコンの場合〉



【注意】

- リモコン本体をやや手前に傾けながら、ゆっくりと取付け・取外ししてください。
- ※ 壁に傷を付ける可能性があります。

〈インテリアリモコンの場合〉



※ 途中で止まった場合は、リモコンを元に戻してから一気に引き出してください。

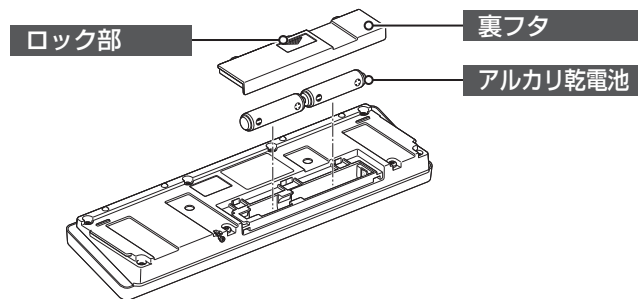
2 「裏フタ」を外し、新しい「乾電池」

(1.5V アルカリ単三形、2 本) に取り替える

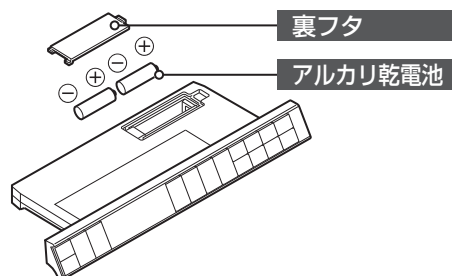
※ 電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。

※ 裏フタが外しにくい場合は、マイナスドライバーなどの工具にてロック部を解除して外してください。

〈壁リモコンの場合〉



〈インテリアリモコンの場合〉



3 「裏フタ」を元通りにはめ、「リモコン」を「ホルダー」に差し込む

(参考)

- 電池マークは電池が消耗したときのみ点滅します。通常は表示されません。
- 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合があります。
- 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、「電池マーク」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。



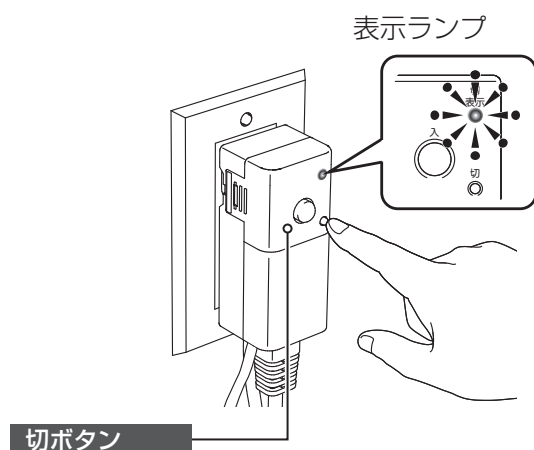
電源プラグ（漏電保護機能付）の点検

電源プラグ（漏電保護機能付）の点検の目安は月に1～2回程度

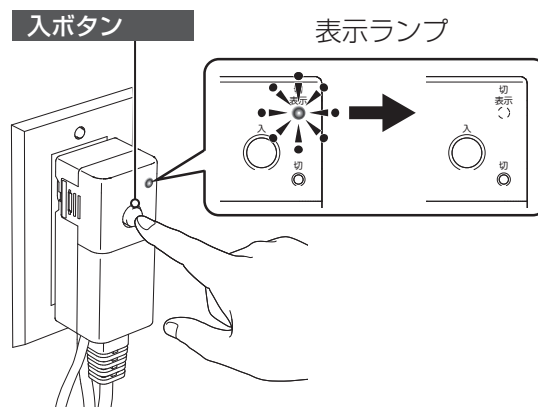
電源プラグには漏電保護機能が付いています。電源プラグの故障は、思わぬ事故につながる可能性があります。必ず点検を行ってください。

1 電源プラグの「切ボタン」を押して、「表示ランプ」が点灯することを確認する

※ 本体が電源「入」の状態で行ってください。



3 「入ボタン」を押して、「表示ランプ」が消灯することを確認する



※ この点検を行うと、ワンタッチ節電の設定が解除されます。再度セットし直してください。
(☞ 22 ページ)

2 「電源表示」の消灯を確認する

● 洗浄ボタン（表示部 / 受光部）





修理を依頼する前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目を確認ください。
 確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
 保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

全機能

現 象	原 因	処 置	ページ
すべての機能が動作しない (電源表示が点灯しない)	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。	—
	電源が「切」(電源表示消灯)になっていませんか。	【電源】を押して、本体表示部の電源表示を点灯させます。	8
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。 電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。	8
	漏電していませんか。 (電源プラグの表示ランプが点灯している。)	電源プラグの入ボタンを押します。 それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、 電源プラグを抜き、修理を依頼してください。	50
	100V 以外の電圧がかかっていますか。	電源プラグを抜き、修理を依頼してください。	—
リモコンのスイッチを押しても動作しない (電源表示は点灯している)	リモコンの電池が消耗していませんか。(電池マーク点滅*)	新しい電池に交換します。	49
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っていますか。	正しい方向に入れます。	49
	リモコンの送信部、または受光部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。	—
	リモコンの送信部、または受光部を体でさえぎっていませんか。	リモコンをホルダーから外し、リモコンの送信部を受光部に向けて【止】を押してください。 本体表示部の電源ランプが点滅した場合は、商品の異常ではありません。	—
	インバーター照明を使用していますか。	照明を消して動作を確認してください。 正常に動作した場合は、商品の異常ではありません。	—
	リモコンの受光部に太陽光が当たっていませんか。	太陽光が直接当たらないようにしてください。	—
	リモコンのスイッチを押すとリモコンの「OFF」ランプが点灯しませんか。	【電源】を押して、リモコン電源を「ON」にします。	—

*：リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

おしり洗浄・ビデ洗浄

現 象	原 因	処 置	ページ
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。	8
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	48
	洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。 ※ 水道圧が低い場合、洗浄強さが最弱ではシャワーが出ないことがあります。	16
	着座センサーが検知していますか。	便座に座ってください。	27
	温水タンクが満水になっていますか。	試運転を行います。	8
	ロータンクへ給水中ではありませんか。	故障ではありません。便器洗浄を優先しています。便器洗浄終了後、再度おしり・ビデなどのスイッチを押してください。	16
	使用中に電源を切っていないですか。	電源を入れ直してください。	—
シャワーが温かくない	温水温度が適当な温度に調節されていますか。	【温水温度】を押し、適当な温度に調節します。	11
	長時間洗浄しましたか。	約 10 分で温かくなります。貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。	—
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	22
	給水温度やトイレの室温が低くありませんか。	故障ではありません。冬場などはシャワーの始めの温度が低い場合があります。	—
シャワーが弱い	ロータンクへ給水中ではありませんか。	故障ではありません。便器洗浄を優先しています。便器洗浄終了後、再度おしり・ビデなどのスイッチを押してください。	16
	洗浄強さが弱になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。洗浄強さを一番強くしてもまだ弱いと感じる場合、【おしり】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押すと、洗浄強さをさらに 1 段階強くすることができます。ただし、お湯切れが早くなるので注意してください。	16
ノズルが出てこない・ノズルが出っぱなしになっている	使用中に電源を切っていないですか。	電源を入れ直してください。	—
ノズルシャッターが外れている（グラついている）	掃除中にブラシなどで引っ掛けて落としていませんか。	ノズルシャッターを正しく取り付けます。	43



修理を依頼する前に

おしり洗浄・ビデ洗浄（つづき）

現 象	原 因	処 置	ページ
以前使用していた機種種のシャワーと異なる	他機種からの買い換えの場合、製品の構造が異なるため、交換前のものに比べて以下のような場合があります。 ・シャワーが出るまでの時間が長い ・シャワーが当たる位置や角度に違いが感じられる ・シャワーが強く感じられる、または弱く感じられる そのような場合は製品の特性であり、故障ではありません。		—

暖房便座

現 象	原 因	処 置	ページ
便座が暖かくない	便座温度が適当な温度に調節されていますか。	便座温度を適当な温度に調節します。	11
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	22
	便座が水で濡れていたり汚れていたりしませんか。	着座センサーが誤検知する場合があります。1 時間以上検知し続けると暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座を掃除してください。	39
	鉢内除菌が作動していませんか。	故障ではありません。使用条件により温度ムラを感じる場合があります。鉢内除菌を解除して様子を見てください。	24
	省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。 トイレを使用しないときは便フタを閉じておくことで便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。		
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。	25
	1 時間以上便座に座っていませんか。	1 時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座から一度立ち上がり、座り直してください。	—
便座の側面が冷たい	便座の暖房機能は、便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触れると冷たく感じる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		29

脱臭

現 象	原 因	処 置	ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	便座が水で濡れていたり汚れていたりしませんか。	着座センサーが誤検知する場合があります。便座を掃除してください。	—
	鉢内除菌が作動していませんか。	故障ではありません。 鉢内除菌は 45 分 ON、15 分 OFF の断続運転をします。脱臭ファンは脱座後 1 分間動作します。	24

脱臭（つづき）

現 象	原 因	処 置	ページ
脱臭ファンが回らない	自動脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。	25
	便座が水で濡れていたり汚れていたりしませんか。	着座センサーが誤検知する場合があります。2 時間以上検知し続けると脱臭ファンが自動的に「切」の状態になります。便座を掃除したり、便座から一度立ち上がり、座り直してください。	—
	2 時間以上便座に座っていませんか。		
脱臭効果が弱くなった（においが気になる）	脱臭フィルターにホコリなどが付着していませんか。	脱臭フィルターを掃除します。	47
	長期間使用していませんか。	シャワートイレ内部ににおいを吸収する部品が入っています。部品の交換を依頼してください。	65

フルオート便座・便座電動開閉〈フルオート便座付の場合〉

現 象	原 因	処 置	ページ
便座・便フタがボタンと落ちる	電動開閉中に便フタを押さえてませんでしたか。	もう一度【便座開 / 閉】を押し、電動開閉しない場合は、コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。	65
	市販の便フタカバー、便座カバーが重い、または引っ掛かっていませんか。	便フタカバー、便座カバーを外して使用してください。	—
	電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。	8
便フタが自動開閉しない または便座が電動開閉しない	【フルオート便座】が「切」になっていませんか。	【フルオート便座】を「入」にします。	14
	市販の便フタカバーが重い、または引っ掛かっていませんか。	便フタカバーを外して使用してください。	—
	便フタが正しく取り付けられていますか。	便フタを正しく取り付けます。	40
	便フタを手動で閉めていませんか。	リモコンまたは手動で便フタを閉じると約 15 秒間は自動で便フタは開きません。	—
	室温が高くなっていませんか。	夏場など室温が高い場合や直射日光などで作動しにくい場合があります。	—
	人体検知センサー（上）が汚れていませんか。	センサー部を、柔らかくきれいな布でふきます。	27
便フタが開きっぱなしになっている、または、人がいなくても開閉を繰り返している	便座が水で濡れていたり汚れていたりしませんか。	着座センサーが誤検知する場合があります。便座を掃除してください。	39
	直射日光が直接センサーに当たっていませんか。	直射日光が当たらないようにしてください。	—



修理を依頼する前に

フルオート便座・便座電動開閉〈フルオート便座付の場合〉(つづき)

現 象	原 因	処 置	ページ
便座を自動で開く際、勢いよく開いて、便フタにあたる	故障ではありません。 便座が倒れてこないようにしっかりと開くためです。		—
以前使用していた機種よりも、動作音が大きい	他機種からの買い換えの場合、以前のものと製品の構造が異なるため、動作音が大きいと感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		—
電源「切」の状態、便フタを閉じるとわずかに開いている	故障ではありません。 便フタを開くアシストのバネが内部に入っているため、わずかに開きます。電源を入れると便フタが閉まります。		—

便器洗浄

現 象	原 因	処 置	ページ
自動で便器洗浄しない	【自動洗浄】が「切」になっていませんか。	【自動洗浄】を「入」にします。	19
水の流れが悪い または、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていますか。	止水栓を全開にします。	8
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	48
	トイレットペーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用された場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。	20
		1度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では5m程度を目安にしてください。	6
汚物が詰まる	トイレットペーパーをたくさん使用していませんか。	止水栓を閉めてから詰まりを解除してください。 ※ 意図せず自動洗浄を行い、便鉢から水があふれるおそれがあります。	—
勝手に洗浄する	間欠流動が「入」になっていませんか。	間欠流動を解除します。	32
大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる	故障ではありません。 大洗浄と小洗浄では約1L異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間にも大きな違いはありません。そのままご使用ください。		—

温風乾燥〈温風乾燥付の場合〉

現 象	原 因	処 置	ページ
温風が出ない	着座センサーが検知していますか。	便座に座ってください。	27
温風が暖かくない	【乾燥】が適当な温度に調節されていますか。	【乾燥】を押し、適当な温度に調節します。	18
	使用条件により温度の感じ方に差がでる場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。 (IEC:International Electrotechnical Commission)		—
温風が途中で止まる	4 分以上使っていませんか。	もう一度、【乾燥】を押しします。	18

お掃除リフトアップ

現 象	原 因	処 置	ページ
リフトアップ 下降時に本体が 降りきらない	本体と便器の間に異物が入っていませんか。	異物を取り除いてください。	—

鉢内除菌

現 象	原 因	処 置	ページ
鉢内除菌が動作しない	鉢内除菌を「切」にしていますか。	鉢内除菌を「入」にします。	24
	〈フルオート便座付の場合〉フルオート便座を「切」にしていますか。	便フタが閉じた状態のとき動作します。フルオート便座を「入」にします。	
	便フタが開いた状態になっていませんか。	便フタが閉じた状態のとき動作します。手動で便フタを閉めます。	

便器（陶器部）

現 象	原 因	処 置	ページ
便器が詰まった	万一詰まった場合には、市販のトイレ用吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。 ※中型（φ 130mm 程度）が最適です。 ※止水栓を閉めてから詰まりを取り除いてください。自動洗浄〈自動便器洗浄付の場合〉で意図せずに水が流れ、便鉢から水があふれるおそれがあります。		6



修理を依頼する前に

便器（陶器部）（つづき）

現 象	原 因	処 置	ページ
水の流れが悪い または、汚物が よく残る	トイレットペーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用された場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。	20
		1度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では5m程度を目安にしてください。	6
	タンクへの給水が完了する前に便器洗浄をしていませんか。	タンクへの給水が完了した後に洗浄してください。	20
小便がはね返る	【立ってする場合】 小便が跳ねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。	溜水面の中央をねらったほうが、小便跳ねを軽減出来ます。また、座ってご使用いただければ、より小便跳ねは軽減できます。	28
	【座ってする場合】 座る位置や小便をする方向によっては、跳ね返ることがあります。	座る位置をずらすか、トイレットペーパーを便鉢内に敷いていただければ、跳ね返りは軽減できます。	
床がぬれている （便器表面や止水栓 がぬれている）	水温と室温の差が大きく、結露が発生し水滴が垂れた可能性があります。	換気扇や、窓を開けると結露を軽減できます。	29
		別売品の結露防止カバー（品番：CWA-106）をご使用ください。	67
床がぬれている （便器表面や止水栓 はぬれていない）	尿が便器を伝って床に垂れた可能性があります。	床をふいてしばらく様子をみてください。それでも床がぬれている場合は、 コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。	—
便器を洗浄すると「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。 汚物を便器から排出する際に、空気も同時に巻き込むためゴボゴボと音が発生します。	ゴボゴボと音が2秒以上続く場合は、通気管などを設置することで軽減できます。工事された業者さまへご相談ください。	—
便器の洗浄音がうるさい	故障ではありません。便器の機種によって洗浄方式が異なり、一般的にサイフォン現象が発生する便器は他の洗浄方式よりも大きな洗浄音がします。		—
便器洗浄後に 床下の排水管から 「ポタポタ」と 音がする	故障ではありません。 便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。		—
便器洗浄後に ロータンク内から 「ゴトツ」と いう音がする。	故障ではありません。 ロータンク内のフロート弁が閉じる際に発生する音です。		—
便器の水面の 大きさが小さい	サイホン式や洗い落とし式といった便器の種類によって水面の大きさが異なります。		—
洗浄時に、 洗浄した水が はねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水がはねる場合があります。		—

便器（陶器部）（つづき）

現 象	原 因	処 置	ページ
用便時に水がはね返る（おつり）	便器に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。	着座位置をずらすか、あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただければ軽減できます。	—
便器（陶器）に黒色やピンク色の汚れがある	空気中のカビやバクテリアが、便器に付着した汚れを栄養に繁殖したものです。カビやバクテリアは水中や空気中に分布しております。	定期的に清掃残りが無いようにお掃除が必要です。お掃除不足やお掃除が出来ていない部分には汚れや水アカが堆積し、黒カビ（黒い輪ジミ）や酵母菌（ピンク汚れ）が繁殖することがあります。 汚れは付着しているだけです。お掃除で除去可能です。中性洗剤（研磨剤なし）を使用して掃除してください。漂白剤を使用すると除菌効果がありますが、強いアルカリ性の漂白剤は陶器表面を傷つけるため使用しないでください。	—
便器洗浄時に、便器鉢内に黒い異物が流れてくる	使用環境等の要因でタンク内に繁殖したカビがはがれ落ちて流れたものです。	トイレ内が多湿にならないよう換気してください。 タンク内の清掃は、LIXIL 修理受付センターへご依頼ください。	65
便器鉢内に黒い粗状の付着物ができる	給水管のサビが洗浄時に流れて便器鉢内に付着した。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程度付着した部分にあてて放置したあと、布でふき取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。 ※ 洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。	—
便器鉢内に赤いサビの付着物がある			
便器を掃除していたらスジ状の金属キズがついた（メタルマーク）	便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがある。	市販のメラミンスポンジに十分に水を含ませ、こすり洗いをして除去してください。 メタルマークの除去方法は動画でご確認いただけます。  メタルマーク除去方法 それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1 時間程度付着した部分にあてて放置したあと、布でふき取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。 ※ 洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。	—



修理を依頼する前に

便器（陶器部）（つづき）

現 象	原 因	処 置	ページ
子供の便が 付着して落ちない	幼児や児童等の身長が低い方がご 使用になると、座る位置が浅くなり、 溜水面の外側に汚物が落ちて 付着するため、便器の洗浄水だけ では洗いきれない場合があります。	樹脂製のトイレブラシなどで掃除し てください。	—
バリウムが流れ ない	バリウムなど水に溶けにくく、重 いものは 1 度の洗浄では流しきれ ない場合があります。	便器内に残ったバリウムおよび汚物 をトイレブラシなどで細かくしたあ と数回洗浄してください。	6
吐水口の奥に水 が溜まる	故障ではありません。 構造上、目視できる場所に水が溜まる ことがあります。		—
便器（陶器）にジェル 状の洗浄剤をつけたら、 洗浄時の水がはねたり 流れが悪くなった。	水の流れが正常な状態から変わっ てしまっているためです。	ジェル状の洗浄剤を取り除いてくだ さい。	—
溜水面が低下する	故障ではありません。 排水管に曲がりが多かったり、通 気が不十分だと鉢内の水が引き込 まれてしまい、溜水面が低下する 場合があります。 PM 付品番の場合、便器深さが深 くできており、溜水が低下してい るように見えることがあります。	2 ～ 3 度水を流しても溜水面が低下 する場合は、補給水を増やす操作を 行ってください。 PM 付品番の場合、溜水面が低く見える構造 になっています。そのままご使用ください。 異常がある場合は、工事された業者様へ ご相談下さい。	29
便器底面に照明の 反射光が映る	故障ではありません。照明が便器に反射し、 底面に模様のようなものが 映ることがあります。照明器具を消してご 確認ください。		—

その他

現 象	原 因	処 置	ページ
便器下部、止水栓 下部に水滴が 付いている	湿度が高く結露した。	こまめにふき取ってください。また、 換気を十分にしてください。	—
		別売品の結露防止カバー（品番： CWA-106）をご使用ください。	67
便座裏に水滴が 付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏 に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、 深く腰掛けてご使用いただければシャ ワーの飛び散りが少なくなります。	—
ロータンクへの給 水時間が長い（目 安時間：2 分程度）	止水栓が十分開いていますか。	止水栓を十分開いてください。	8
	ストレーナーが汚れていませんか。	ストレーナーを掃除します。	48
本体から“ググ グッ”と音がする ●電源プラグを コンセントに 差し込んだとき ●シャワーを 止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。 洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に異常がなければ問題ありません。		—

その他（つづき）

現 象	原 因	処 置	ページ
使用していないときに本体からファンが回っている音がする。	鉢内除菌、脱臭機能が動作している可能性があります。機能の状態を確認してください。 鉢内除菌は、45 分間 ON、15 分間 OFF の断続運転を行います。脱臭ファンは脱座後、1 分間動作します。		15,24
本体から「ジー、ジー…」と音がする	プラズマクラスターイオンが発生するときの音で、故障ではありません。（音の種類は変わることがあります。）使用環境により、音が大きく感じたり、聞こえにくく感じたりすることがありますが、プラズマクラスターイオンの効果は変わりません。		—
電源表示が点滅している	温水・便座・乾燥・洗浄モーターのいずれかの機能に不具合が生じている。	【電源】を「切」にしても点滅している場合は、 故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。	65
点検表示が点灯している	点検時期が来ている。	点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。	62
便座裏側にある足が便器についていない	故障ではありません。 便座が上下する構造のため、便座の足と便器の間にすき間があります。便座前足の片側のみが便器につく設計になっていますので、そのままご使用ください。		—
シャワートイレ本体と陶器のすき間が空いている	故障ではありません。 焼きものならではの個体差により、すき間が空いて見える場合があります。そのままご使用ください。		—
漏水している	ストレーナーが緩んでいませんか。	ストレーナーを締めます。	48
	ストレーナーにゴミが付着していませんか。	ストレーナーを掃除します。	48
	温水タンク水抜栓が緩んでいませんか。	温水タンク水抜栓を締めます。	35
	湿度が高く結露していませんか。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	—
便器鉢内に水がチョロチョロと流れ続ける（水が止まらない）	故障ではありません。水を流してから 5 分以内に水が止まるようでしたら、便器の溜水を確保するための補給水です。		—
便フタ・便座を開くと本体がガタつく	故障ではありません。 リフトアップ付の場合はリフトアップの動作のためにスキマを持たせた設計になっていますので、便フタ・便座を開くと本体が動きます。そのままご使用ください。		—
お買い上げ時の設定に戻したいとき	《便利な使い方》などで変更した機能を全てお買い上げ時の設定に戻します。	【節電】と洗浄位置【前】を同じタイミングで 2 秒以上押します。	26
便鉢内が青く光る	正常です。	消したいときは、青ライトの設定を「切」にしてください。	25



安全・安心にお使いいただくために

製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

- 経年劣化により事故に至るおそれがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦4桁で表示してあります。）

 警告	【想定安全使用期間】 10 年 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。
--------	---



(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V 50/60Hz	機器の定格電圧 / 周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 規格票による
	給水温度・給水圧	15℃ 0.2MPa	JIS A4422 規格票による
負荷条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	—
想定条件	4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）において、大便：1 回 / 日・人、小便男性：4 回 / 日・人、小便女性：4 回 / 日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 規格票による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常的使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

❖経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

長年のご使用や故障したままのご使用は、電子・電気部品が劣化して発煙・発火などの恐れがあります。



温水洗浄便座を
安全に使う
3つのポイント

① 定期的な点検をおすすめします。
まずは自分で安全チェックを。

安心してご使用いただくため、定期的な点検（有料）をおすすめします。

② リコール製品や故障した製品は使わないでください。

発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を開けてご使用を中止してください。

③ 長期間お使いの製品は点検と買い替えをご検討ください。

長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

- ☐ トイレが焦げ臭いなどいつもと違うにおいがする。
- ☐ 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある。
- ☐ 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている。
- ☐ 便座がときどき冷たい（節電中は除く）。
- ☐ 便座コードの発熱やねじれ、キズ、
- ☐ 電源プラグやコードの発熱や焦げ、変色がある。
- ☐ 便座が異常に熱いときがある。
- ☐ 挟み込みがある。
- ☐ 製品や便器を伝って水漏れしている。
- ☐ お湯や温風が異常に熱い、または冷たいときがある。
- ☐ 便座にひびや割れがある。
- ☐ 使うときだけ少量の水がたれて水漏れしている。

上記症状は、発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を開けてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

一般社団法人
発行元： **日本レストルーム工業会**

<https://www.sanitary-net.com/>

トイレナビ 検索



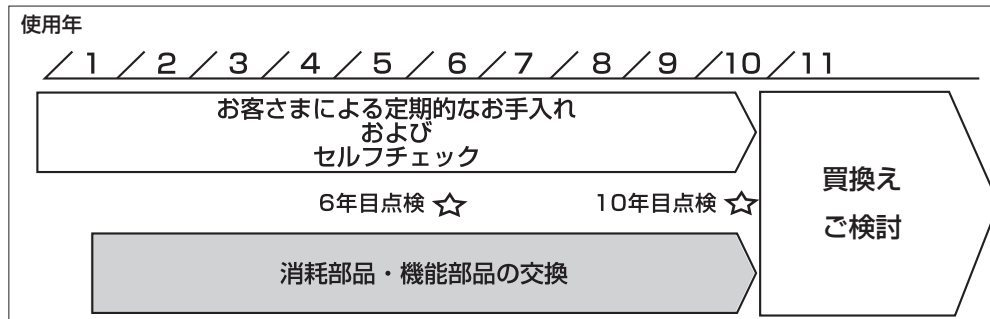
詳細はこちらをご覧ください



経済産業省

一般社団法人
リビングアメニティ協会

1. 定期点検・部品交換などの目安



2. 有料点検のおすすめ

有料となりますが、当社では各種点検をご用意しています。

有料点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。

※ 点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

■ 6 年目点検（逆流防止装置の点検）

逆流防止装置が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。

「6 年目点検」として逆流防止装置点検を受けていただくことをおすすめします。

また、「あんしん点検」も併せてを受けていただくことをおすすめします。

■ 10 年目点検（点検ランプ点灯時）

製品を約 10 年で使用いただくと点検表示が点灯します。

これは機器の故障ではなく、お客さまに安心してご使用いただくための機能です。

長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。

この機会に「10 年目点検（おまかせ点検）」を受けていただくことをおすすめします。

※ ご使用条件により、点検表示の点灯時期は異なります。（※ 61 ページ）

※ お客さまによる操作ではこの表示を消灯することができません。LIXIL トータルサービスのサービス員による「10 年目点検（おまかせ点検）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯します。



■ 点検

補修用性能部品の保有期間（※ 65 ページ）内であれば、定期点検の時期にかかわらず、お客さまのご希望の時期に、サービス員が確認する「あんしん点検」をご用意しています。

日々のセルフチェックでは確認できない本体内部を含む製品の状況をサービス員が点検することで、安心してご使用いただけます。

※ 点検の内容は「10 年目点検（おまかせ点検）」と同じです。



安全・安心にお使いいただくために

温水洗浄便座は電気製品です。長期間のご使用による経年劣化や、故障したままのご使用は事故に至るおそれがあります。故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

3. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。

下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。

点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願いいたします。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも
該当する
場合

次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。

電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

	点検目安※	実施日						
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。								
 ① 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
 ② 便座が異常に熱いときや冷たいときはありますか？	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
 ③ 便座の開閉はスムーズですか？便座のガタツキはありますか？	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。								
 ④ 水漏れがありませんか？ 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動きなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。								
 ⑤ 電源コードが熱くなっていますませんか？傷んだり、挟み込んだりしていませんか？	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
 ⑥ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障（異臭・異音）していませんか？	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
 ⑦ 電源プラグにほこりがたまっていませんか？ はい ☐ → ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	

※点検目安は当社おすすめの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。



アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな?と思ったら」(☎ 51 ページ以降)を参照してください。

それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- 取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- コードの傷みやコンセントのガタつき
- コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずご相談ください。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。

記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■ 保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

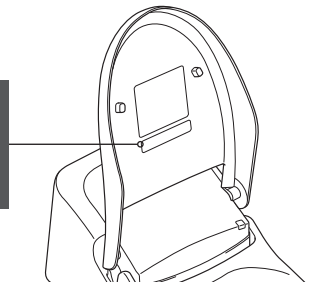
■ 連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
 2. 品名・品番・色番・製造番号
(便フタ裏または製品本体に貼ってある表示をご覧ください。)
 3. お取付日(保証書をご覧ください。)
 4. 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
 5. 訪問ご希望日
- ※ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってある表示が必要となります。決してはがさないようにしてください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、
お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料 + 出張料 + 部品代です。

品名
品番
色番
製造番号





アフターサービス

4. 補修用性能部品の保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の保有期間は製造中止後 15 年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承ください。
※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 商品についての使い方・お手入れ方法などのお問い合わせは

商品のお問い合わせ



お客さま相談センターへ

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※上記番号がご利用いただけない場合は、下記をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

【受付時間】 平日 9:00 ~ 18:00

土・日・祝日 9:00 ~ 17:00

※ ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

6. 商品についての修理・定期点検のご依頼は

修理・点検のご依頼



製品品番がご不明な場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL 修理受付センターへ

■ WEB サイトからの修理依頼はこちら ※ 24 時間依頼可能



リクシル 修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■ お電話でも修理を承ります

【受付時間】 9:00 ~ 19:00
(年末年始休み)

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

7. 延長保証について

通常、保証期間は 2 年間ですが、リクシルオーナーズクラブへの会員登録をされますと無料でさらに延長されます。WEB からご登録いただくか、同梱の「オーナーズクラブ会員登録 兼 長期保証サービスお申込みハガキ」に必要事項を記入し、郵送してください。

※ 詳しくはご購入時にお渡しの「リクシルオーナーズクラブで登録（所有者登録）のお願い」をご覧ください。

※ 非住宅でご使用の場合は、WEB からのご登録のみとなり、保証期間は 1 年の延長となります。

8. 登録手順

■ WEB の場合

「リクシルオーナーズクラブウェブサイト」からご登録をお願いします。
シャワートイレ以外の製品を含め、複数の LIXIL 製品の保証延長を一度にご登録いただけます。
ご登録いただきました会員さま専用のマイページをご用意いたします。お掃除がラクになるお手入れ方法など心地良い暮らしのヒントになる情報をお知らせしてまいります。

1. あらかじめ製品の本体に表示しています製品情報（品番・製造番号）をご確認ください。
2. スマートフォンやパソコンから以下のサイトへアクセスし、手順に従ってご登録ください。
<https://lixil.to/locw01>
※ご登録にはメールアドレスが必要になります。
3. 保証書に製造番号、品名・品番をご記入ください。
※製造番号・品名・品番は便フタまたは製品本体の表示をご覧ください。
（取扱説明書のアフターサービスを参照ください。）
4. 登録完了後、「オーナーズクラブマイページ」から登録製品および延長保証書をご確認ください。

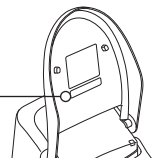


■ ハガキの場合

同封のハガキにてご登録をお願いします。
※非住宅でご使用のお客さまは WEB のみのご登録となります。

1. オーナーズクラブ会員登録ハガキに必要な事項をご記入ください。
※記入もれがあると、登録できない場合があります。フリガナも必ずご記入ください。
※取付日は必ずご記入ください。
※電話番号は延長保証書が宛先不明で返送された際の確認などに必要です。必ずご記入ください。
2. 保証書に製造番号、品名・品番をご記入ください。また、ハガキ投函後にハガキで郵送日をご記入ください。
※製造番号・品名・品番は便フタまたは製品本体の表示をご覧ください。
（取扱説明書のアフターサービスを参照ください。）
3. 保証書は発送されません。
ご登録には 1 ヶ月前後お時間をいただきます。
お問い合わせは「お客さま保守センター」までお願いいたします。

製造番号
品名
品番



**所有者登録・延長保証のお問い合わせは、
お客さま保守センターまで**

受付時間 / 平日 10:00 ~ 17:00 ※土日祝・夏期・年末年始の休みは受け付けておりません。

TEL ☎ 0120-179-473

9. 個人情報のお取り扱いについて

ご登録いただいたお客さまの情報は、次の目的に利用させていただきます。

- ・ お客さまに対してダイレクトメール、電子メール等による情報（製品安全に関する大切なお知らせ、当社商品・サービスに関わる情報など）をご提供するため
- ・ リクシルオーナーズクラブの特典やキャンペーン等で当選したプレゼントをお客さまにお届けするため
- ・ 商品やサービスについてお客さまの利用状況や満足度を調査するため

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページ「プライバシーポリシー」をご覧ください。



別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間作りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

■ おしりノズル先端 (品番：CWA-244A)

■ ビデノズル先端 (品番：CWA-245A)

汚れが気になるときに交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。(☞ 45 ページ)

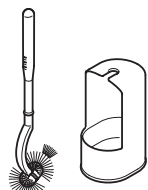


■ お掃除ブラシ (品番：CWA-48、CWA-48-A)

便器のアクアセラミック表面にキズを付けないブラシです。便鉢の裏まできれいに洗い落とせます。

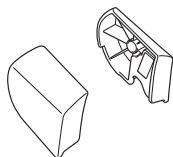
(☞ 42 ページ)

※ CWA-48-A はケースが付きません。



■ 便座ストッパー (品番：CWA-273)

便フタを外してご使用する場合にご購入ください。



[注意]

● 便座ストッパーをご使用の際、スーパー節電機能、鉢内除菌機能およびフルオート便座機能は使用できませんので、ご了承ください。

■ トイレ用お掃除ティッシュ

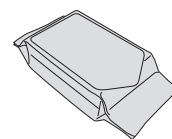
(4 個セット 品番：CWA-36-4SET)

(12 個セット 品番：CWA-36-12SET)

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。

使用後、便器にそのまま流せます。

(☞ 39 ページ)



■ シャワートイレお掃除クリーナー (品番：CWA-20)

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。

脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。

(☞ 39 ページ)



■ ノズルシャッター (品番：CWA-246)

汚れが気になるときに交換できます。

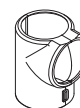
ノズルまわりをいつも清潔に保てます。

(☞ 43 ページ)



■ 結露防止カバー (品番：CWA-106)

止水栓の結露を抑え、カビ・汚れを防ぎます。



別売品の購入方法



■ 直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

■ 宅配サービスをご利用される場合

宅配サービスでは送料が別途必要となります。ご注文の商品によって異なりますが、ご注文確認後 7 日～10 日以内に発送させていただきます (但し、夏季休暇、年末年始、ゴールデンウィークを除きます)。

お支払方法は代引きでのお支払い (代金引換決済) のみとなります (振込み、クレジット支払いなどは不可となります)。その他配送料金などの詳細は、下記のフリーダイヤルもしくはホームページにてご確認ください。



LIXIL ストア

WEB LIXIL ストア

<https://store.lixil.co.jp>

検索

※インターネットではお取り扱いしていない商品もございます。部品の特定をご希望の場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。



LIXIL ストア部品販売窓口

TEL ☎ 0120-126-015

受付時間 平日 9:00～17:00
(土日祝日・ゴールデンウィーク・夏季休暇・年末年始休み)



仕様

グレードの型番は [「機能の紹介」(12 ページ) の『品番対応一覧』] をご参照ください。

シリーズ名				ブラス LS タイプ			
グレード				CL6A/CLR6A/CLM6A		CL5A/CLR5A/CLM5A	CL4A/CLR4A/CLM4A
定格電圧				AC100V 50/60Hz			
定格消費電力				390 W		300 W	
省エネ区分				貯湯式			
年間消費電力量※1				176 kWh/ 年 (節電機能切時：246 kWh/ 年)			
給水圧力		最低必要圧力		0.06 MPa (流動時)			
		最高圧力		0.75 MPa (静止時)			
使用温度範囲				0℃～40℃			
商品寸法				幅 391 mm×奥行 714 mm×高さ 650 mm			
商品質量				CL6A、CL5A、CL4A：約 37kg (機能部：約 8kg、便器部：約 29kg) CLR6A、CLR5A、CLR4A：約 37kg (機能部：約 8kg、便器部：約 29kg) CLM6A、CLM5A、CLM4A：約 33kg (機能部：約 8kg、便器部：約 25kg)			
電源コード (電源接続方式)				有効長さ 1.0 m (漏電保護機能、アースコード付)			
器部	便洗浄水量		大洗浄 5 L、小洗浄 3.8 L、男子小洗浄 3.8 L (ECO モード解除時：大洗浄 6 L、小洗浄 5 L、男子小洗浄 5 L)		大洗浄 5 L、小洗浄 3.8 L (ECO モード解除時：大洗浄 6 L、小洗浄 5 L)		
	給水方式		水道直結式				
	便器洗浄方式		パワーストリーム洗浄				
	サイズ		大型				
部	凍結防止	流動方式	60L/h※2				
		ヒーター容量	27 W				
		安全装置	温度ヒューズ				
		電源コード長さ	1.5 m				
機	洗浄	給水方式	水道直結式				
		給湯方式 (タンク容量)	貯湯式 (0.71 L)				
		おしり吐水量	0.27～0.57 L/ 分 (6 段階調節) 供給水圧 0.2 MPa のとき				
		ビデ吐水量	0.45～0.65 L/ 分 (6 段階調節) 供給水圧 0.2 MPa のとき				
能部	温水乾燥	水温	水温・約 32℃～40℃ (計 6 段階切替)				
		温水温度	スーパー節電設定時：水温・約 30℃～36℃ ワンタッチ節電 (8 h) 設定時：水温				
		ヒーター容量	250 W				
		安全装置	温度ヒューズ・高温感知回路・空焚防止フロートスイッチ				
	風乾燥	風量	0.30 m³/ 分		—		
		室温	室温・約 40℃～55℃ (計 3 段階切替)		—		
		ヒーター容量	340 W		—		
		安全装置	温度ヒューズ		—		
	鉢内除菌	風量	0.05m³/ 分				
		方式	プラズマクラスター技術による分解・除去方式				
		表面温度※3	室温・約 28℃～36℃ (計 6 段階切替) スーパー節電設定時：室温・約 27℃～30℃ ワンタッチ節電 (8 h) 設定時：室温				
		ヒーター容量	48 W				
部	暖房便座	安全装置	温度ヒューズ				
		脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式				
		脱臭能力	パワー脱臭時：0.11 m³/ 分 フルパワー脱臭時：0.14 m³/ 分 ターボ脱臭時：0.17 m³/ 分				
		寸法	幅 263 mm×奥行 34 mm×高さ 73 mm				
リモコン	壁リモコン	電源	単三アルカリ乾電池：2 本				
		通信方式	赤外線式				
		寸法	幅 325 mm×奥行 130 mm×高さ 38 mm				
		電源	単三アルカリ乾電池：2 本				
インテリアリモコン		通信方式	赤外線式				

※1: 省エネ法 (2012 年度基準) に基づいた測定値。

※2: 間欠流動方式となります。

※3: 省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としています。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。
トイレを使用しない時は便フタを閉じておくことで便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

■ 上記の各数値は一定の条件下によるもので、使用環境条件等により異なる場合があります。

[注意] ●この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

修理・お取扱いのご相談 よくお読みください

修理を依頼する前に ご確認ください

- ☒ 知っておけば便利で安心.....27～36 ページ
- ☒ 故障かな?と思ったら.....51～60 ページ

上記を確認しても 改善しない場合

まず、お求めの取扱店へご相談ください。

お問い合わせの際は、修理対象商品の下記内容をご確認ください。

トイレ：シリーズ名、品番

※ 左記内容が確認されていると、スムーズな修理対応が行えます。確認できる範囲で構いません。ご協力よろしくお願いします。

取扱店	ご購入年月日	年	月
TEL () -			

※ お取扱店がわからない・ご連絡できない場合は、下記のお客さま窓口へお問い合わせください。

お客さま窓口

LIXIL 公式 HP お客さまサポート



リクシル お客さまサポート

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

● メールでのお問い合わせ、WEB 修理受付、WEB パーツ販売をご利用いただけます。
その他コンテンツ
Q & A、所有者登録、長期保証サービスお申込み、お手入れ動画などがございます。

商品のお問い合わせ



お客さま相談センターへ

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※上記番号がご利用いただけない場合は、下記をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

【受付時間】 平日 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

※ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

修理・点検のご依頼



製品品番がご不明な場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL 修理受付センターへ

● WEB サイトからの修理依頼はこちら ※ 24 時間依頼可能



リクシル 修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

● お電話でも修理を承ります

【受付時間】 9:00～19:00
(年末年始休み)

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

別売品のご購入



部品の特定をご希望の場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL ストア へ

TEL ☎ 0120-126-015

<https://store.lixil.co.jp>

【受付時間】 平日 9:00～17:00

※土日祝日・ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

● LIXIL ストアは、お客さまご自身でお取換えいただける部品の宅配サービスにて取扱いする窓口です。お取換え作業時に特別な資格、技術が必要なものや、安全性に関わる部品は取扱っていません。

個人情報のお取扱いについて



当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>